

兵庫県立聴覚障害者情報センターライブラリー目録

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA83-002	歳月 あるろう夫婦の記録(白黒)	芸術祭参加作品として昭和39年11月3日に放映された番組。聴覚障害の藤田威さん・孝子さん夫婦の生活ぶりを紹介する。	40	C-1
VHS	DA85-003	コミュニケーションはたらく障害者と職場	条件の違う3か所の事業所を訪れ、障害者本人と上司や同僚に職場の体験を通して気づいたことを語ってもらった。良かったこと、失敗したこと、多くの発見や試行錯誤、そのプロセスこそが新しい出会いの糸口だった。	30	C-1
VHS	DA89-011	人間いきいき心で聴いたカーテンコール	大分で開かれた全国ろうあ者演劇祭で、大分のろうあ者劇団「ピエロ」が手話で森鷗外の「高瀬舟」を演じ注目された。一行を率いる二宮敬介さんは、内に閉じ込めりがちなろう者の心を開かせたいと、お金の工面やチラシ作りに奔走する。	30	C-1
VHS	DA89-012	Time21七恵ちゃん 明日が聞こえるね	橋本七恵ちゃんは4歳、耳の不自由な両親と手話で会話する。音を聞き言葉を話す長女の七恵ちゃんは、両親にとって外の世界への導き手でもある。子を育て、子に助けられながら生きる一家の様子をさわやかに描く。	45	C-1
VHS	DA89-015	24時間テレビ 叫んでも聞こえない	昭和39年～40年、沖縄で風しんが流行し500人もの難聴児が生まれた。昭和56年、北城ろう学校の生徒たちは甲子園への夢を抱いて野球部の結成を目指し、やがて待望の野球部はできたが……。斉藤由貴・工藤静香・石黒賢・坂上忍 ほか	95	C-1
VHS	DA91-022	Time21七恵ちゃん 明日が聞こえるね・	両親とも耳が不自由という一家の家族愛を幼い娘の目を通してドキュメントした『七恵ちゃん明日が聞こえるね』(1988年11月14日制作)の続編。今回は、七恵ちゃん・百恵ちゃんに続いて、一家の新しいメンバーに加わった3人目の赤ちゃんの誕生から始まる。	45	C-1
VHS	DA91-023	ハンディは地域の輪で克服!手話でコミュニケーション	聴覚障害者にとって地域の人々との円滑なコミュニケーションは大変重要な課題である。聞こえないことから発生するトラブルや誤解も多い。そのような中で、自ら手話を習い地域の聴障者の相談役を15年もしている人や、聴導犬を通して地域の人との交流の糸口をつかんだ人などを紹介しながらハンディを克服する方法を探る。	30	C-1

兵庫県立聴覚障害者情報センターライブラリー目録

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA91-024	ドキュメンタリー 原爆は聞こえなかった	昭和20年8月9日、長崎に原子爆弾が落とされた時、長崎市には約150人の聴覚障害者がいた。彼らはどんな思いで新型爆弾の恐怖の中を生きてきたのか。戦後45年間、忘れられていたろうあ被爆者の姿を追う。	50	C-1
VHS	DA91-027	NHKスペシャル 障害者の日特集 指先で生命(いのち)をみつめて	目と耳が不自由な二重障害をもつ青年・福島智さんは、かたわらを歩く通訳者から送られてくる指点字を通して町の様子を見、町のざわめきを感じる。彼は今東京で一人暮らしをしながら大学教師を目指して大学院で勉強中、彼の生活を追いながら、仲間同士で支え合う世界を紹介する。	45	C-1
VHS	DA91-028	聞こえてくる心のうた ～聴覚障害者の就業のために～	日本の障害者数は18歳以上で約2,413,000人。そのうち約15%354,000人が聴覚障害者といわれる。ひとくちに聴覚障害者と言っても聞こえの程度には個人差があり、コミュニケーションの手段もいろいろである。ここでは、一つの例をもとにドラマを進めながら、雇用の実態を紹介、職場では聴覚障害者とさりげなくうまく接するだけでなくお互いに本音の部分も出し合って意思の疎通をはかることが大切ではないかと説 日本障害者雇用促進協会	35	C-1
VHS	DA92-037	おんなじ空の下で —私たちの社会参加—	北海道札幌市の聴覚障害者の店で働く人たち、筑波技術短期大学で情報処理助教授を勤める視覚障害者、主婦・母親・OLの三役をこなす車椅子の女性、社会福祉施設で自立をめざして訓練に励む人たち。障害の有る無しにかかわらず人間としてだれもが平等に暮せる社会、完全参加と平等を目指して努力している人々の姿を伝える。	25	B-1
VHS	DA95-043	徹子の部屋福島 智	盲ろうというハンディキャップを持ちながら、都立大学・同大学院を卒業された福島智さん。「指点字」という手段で周囲の人々とコミュニケーションをとる福島さんにお話を伺う。	31	C-1
VHS	DA96-045	あすの福祉 手話落語に夢をかける15歳初舞台に挑戦	手話落語の創始者、桂福団治氏に入門した村上信次君が、楽福亭金魚という芸名で高座に上り小話を披露するまでの奮闘ぶりを、周囲の応援を交えて紹介する。	30	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA98-063	君の手がささやいている	生まれながらの聴覚障害を持つ美栄子は商事会社に入社。初めは同僚たちとの関係がうまくいかず孤独感を感じている美栄子だったが、同じ会社に勤める博文と知り合い明るさを取り戻していく。菅野美穂・武田真治・高樹沙耶 ほか	93	C-1
VHS	DA99-067	共に生きる明日 漫画で障害者の心を描く ～山本おさむさん～	ろう重複障害者と彼らを支える人々を描いたアニメーション映画「どんぐりの家」。この映画の原作者、漫画家の山本おさむさんに、作品を描き上げるまでの苦労話や一番訴えたかったこと、障害者の漫画を描き始めたきっかけなどを伺う。	30	C-1
VHS	DA99-068	列島福祉レポート いつでもどこでも手話通訳を ～札幌市～	昭和49年、京都に次いで全国で二番目に手話通訳派遣事業を始めた札幌市。聴覚障害者6,000人に対して手話通訳者は73人いるが、医療や教育関係、講演会やセミナー、運転免許取得など派遣の範囲も広く、すべての依頼にこたえきれないのが現状だ。	30	C-1
VHS	DA99-071	夢はきつとかなうもの ～手話ロック・シャンテ～	19年前、大阪市立盲学校の音楽好きな3人が集まって結成したロックバンド『シャンテ』。音楽を楽しむのに障害は関係ないと6年前、手話通訳者の山本智子さんをバンドに迎えて年間ライブは200回以上になるという。昨年は、シャンテの夢だった東京での自主コンサートを実現させた。	28	C-1
VHS	DA99-072	君の手がささやいている ～第二章～	聴覚障害をもつ美栄子は博文と結婚し幸せな毎日だった。そんなある日、妊娠3か月と分かる。だが母親になる自信がなく思い悩むが産休中の会社の先輩のアドバイスや博文の励ましで、美栄子は無事女の子を出産する。武田真治・菅野美穂・木内みどり ほか	97	C-1
VHS	DA99-074	ドキュメンタリー人間劇場 手の言葉に耳を澄ますと 丘の上に灯ともす 米作り夫婦	北海道栗山町で農業を営む三津橋賢一さん、和子さん夫婦はろうあ者。結婚して39年、2人の子を育て上げ、今は夫婦2人で暮らしている。2人の1年を通して人間本来の生き方を探り、心豊かに生きるすがすがしさが語られる。	46	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2000-077	ザ・ノンフィクション 麻弓の冒険	聴覚障害者で元風俗嬢の“豹ちゃん”こと武田麻弓さん。彼女は今、ニューヨークで黒人の夫と娘の三人暮らしをしている。彼女の波瀾に満ちた人生を振り返りながら、ニューヨークでの彼女の生活に密着取材する。	46	C-1
VHS	DA2000-078	徹子の部屋 ろう者女優が初主演 忍足亜希子	映画「アイラブユー」で主演デビューした忍足亜希子さん。彼女は、ろう者自身がろう者の役を演じるということで注目を浴びた。忍足さんに生い立ちや映画でのエピソードを伺う。	26	C-1
VHS	DA2000-080	平成11年度文化庁芸術祭参加 作品 君の手がささやいている ～第三章～	聴覚障害を持つ美栄子と健聴者の博文は、結婚し、出産、育児と夫婦力を合わせて乗り越えてきた。一人娘の千鶴が、小学校入学を間近に控えたある日、突然博文に仙台への転勤話が。博文は、単身赴任を決意するが…。 菅野 美穂・武田 真治・西澤 美優 ほか	99	C-1
VHS	DA2000-081	手話ビデオ団体紹介ビデオ① 財団法人全日本聾啞連盟・社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 (字幕入り)	この番組は、全国規模で活動している聴覚障害者の関係団体をシリーズでご紹介する番組です。1回目は、(財)全日本聾啞連盟と(社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会の2団体をご紹介します。事務所の様子、理事長へのインタビュー等を収めましたので、是非ご覧ください。 (平成11年度制作手話ビデオに字幕を挿入しました。)	24	C-1
VHS	DA2000-082	手話ビデオ 団体紹介ビデオ② 社会福祉法人全国盲ろう者協会 (字幕入り)	団体紹介ビデオの2回目は、全国盲ろう者協会を紹介する。この協会の事業について、事務局の松谷さんにご説明いただく。また併せて、盲ろうという障害や盲ろう者のコミュニケーション方法、通訳・介助の実際等もご覧いただく。 司会：植野慶也	26	C-1
VHS	DA2001-087	きらっといきる 笑いでバリア無くしまっせ！ ～手話落語家・福団治亭 くいだおれさん～	聴覚に障害を持つ福団治亭くいだおれさんは、手話落語を始めて15年。「落語は“話の芸”です。手話落語は、“手の芸”です。」と語るくいだおれさん。くいだおれさんの創作した手話落語や視覚障害者を交えての「バリアフリー落語」を紹介する。	30	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2001-088	きらっといきる 手話のアートで舞台をつくる ～劇団「あしたの会」のみなさん～	京都市の劇団「あしたの会」は、ろう者と健聴者が共に芝居を作っている劇団。「ろう者が健聴者に合わせるのではなく、対等に生きる社会を」と、呼びかける「あしたの会」から俳優の蒲原敏光(かまはらとしみつ)さん、金博茂(きむぱくむ)さん、山脇立嗣(やまわきたつし)さんを迎え、芝居にかける思いを聞く。	29	C-1
VHS	DA2001-091	平成12年度文化庁芸術祭参加作品 君の手がささやいている —第四章—	聴覚障害者の美栄子が、事故に遭いそうになったのを目撃した娘の千鶴は、母が心配で友達とも遊ばず母の買い物に付き合う。娘の不安に気づけなかったことが美栄子には、ショックだった。そして自分は夫や娘に幸せにしてもらえばかりで、自分が幸せを与えることはできないと悩む。 武田真治／菅野美穂／高樹沙耶／舞／木内みどり／本田博太郎	93	C-1
VHS	DA2001-092	きらっといきる あなたの手から思いが伝わる 聴覚障害者のホームヘルパー 廣田しづえさん	大阪で聴覚障害者の訪問介護をしている廣田しづえさん。ご自身も聴覚に障害がある。四年前にヘルパー1級の資格を取り、活躍中の廣田さんの様子をVTRで紹介しながら、なぜヘルパーになったのか、将来の夢などについてお話をさせていただく。	29	C-1
VHS	DA2001-093	きらっといきる ぼくらはアメフト日本一！ ～聴覚障害のアメフト部員・ 西村隆幸くん～	大阪産業大学附属高等学校3年の西村隆幸くんは、聴覚障害がありながらアメフト部のレギュラー。ポジションは、コーナーバックだ。1999年アメフト高校日本一になったこのチームの練習風景や、部員仲間との交流などを詳しく紹介する。	29	C-1
VHS	DA2001-094	手話ビデオ 団体紹介ビデオ③全国難聴児を 持つ親の会(字幕入り)	難聴児を育てている家族が主体となって活動している難聴児を持つ親の会。親の会主催の親子キャンプや、難聴学級見学、座談会の様子などを紹介するとともに、全国難聴児を待つ親の会の稲田会長からメッセージをいただく。	29	C-1
VHS	DA2002-095	きらっといきる 手で読む手で聴く手で話す ～「すまいる」の盲ろうの仲間たち～	視聴覚二重障害者福祉センター「すまいる」の代表、門川紳一郎さんと副代表の綾城重男さんをお迎えし、お話を伺う。VTRで同じ障害のある仲間と語り合える場「すまいる」のありかたを説明する。手話通訳は山口敦子さん。	29	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2002-096	にんげんゆうゆう シリーズろう の世界の豊かさを伝えたい①言 葉のバリアを越えて	12年前の「遥かなる甲子園」に続き、ろう者を 主人公にした映画「アイ・ラブ・ユー」を撮った 大澤豊監督がゲスト。ありのままのろう者像を 描くのが、この映画の狙いで、ろう文化やろう 者の価値観を正しく把握するためには、日常 の交流が大切と、ご自身の経験から話される。	29	C-1
VHS	DA2002-097	にんげんゆうゆう シリーズろう の世界の豊かさを伝えたい②あ なたに届け私の思い	ゲストに忍足亜希子さんを迎え、二度目の主 演映画「アイ・ラブ・フレンズ」の一部を紹介しな がら、この映画にかけた思いや役づくりについ て伺う。映画の題名どおり仲間は大切で、励ま し合い助け合うことは、ろう者とか聴者とかは 全く関係なく人間として大切だということ、今後 の抱負を熱く語られる。	29	C-1
VHS	DA2002-098	ザ・プロフェッショナル 育て！音を伝える犬 ～有馬もと～	1996年に長野県上伊那郡宮田村に日本聴導 犬協会が発足した。今までに4頭を送り出し、 8頭を訓練中だ。耳の不自由な人に生活の中 で必要な音を届け、安心して暮らせるように支 えるのが役割と、聴導犬トレーナーの有本もと さんは語る。訓練の様子も紹介する。	29	C-1
VHS	DA2002-104	君の手がささやいている -最終章-	生まれながらに聴覚障害をもつ美栄子は、博 文と結婚し、やがて生まれた娘・千鶴も無事6 年生に成長した。今までは何でも話してくれた 娘の親離れに美栄子は戸惑い、娘の気持ちを 理解しようとして千鶴の日記を手にする。それ が原因で千鶴は家出するのだが……。 武田真治/管野美穂/谷口舞/高樹沙耶 ほか	124	C-1
VHS	DA2002-105	社会福祉の実際 障害者福祉の実際	福祉を学ぶ人を対象に、障害者福祉の変遷や 施策について解説した番組。日本の福祉の歴 史や、WHOによる障害分類、ノーマライゼー ションやバリアフリーなどの理念、さらに障害 者基本法などの法律についてわかりやすく解 説する。また、生活訓練や職業訓練といったリ ハビリテーションの現場、地域社会での障害者 のくらし、新しい福祉サービスなどを紹介する。	33	C-1
VHS	DA2002-106	にんげんゆうゆう シリーズ障害 と資格 聴こえなくても仕事ので きる	障害を理由に資格が取れないという「欠格条 項」の見直しが始まった。シリーズ障害者と資 格、今回は耳が聴こえない医師の活動を紹介 するとともに、聴こえない大学生が講義を受け る際の支援等の現状について紹介する。	29	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2002-107	にんげんゆうゆう シリーズバリアをこえて 聞えなくても弁護はできる	弁護士の田門浩さんは先天性のろうで話すことも不自由。中学2年の秋“耳の聞こえない人が難関の司法試験に合格”という新聞記事を目にしてから猛勉強し、東大法学部に現役で合格。平成7年には司法試験に合格し、現在は新宿にある法律事務所に勤務。人を助ける仕事がしたいという夢を実現させた。これからの目標についても話して下さる。田門浩／新藤保代／土橋照美／小林君恵／柿沼郭	29	C-1
VHS	DA2002-108	団体紹介ビデオ④目で聴くテレビ～NPO法人CS障害者放送統一機構～<手話ビデオ><字幕入り>	1998年から放送の始まった「目で聴くテレビ」は、日本で唯一、聴覚障害者の手によって番組の制作が行われている。すべての番組に手話と字幕がつき、聴覚障害者にとって身近な情報を発信し続けており、また阪神大震災の教訓から、緊急災害時の情報保障にも取り組んでいる。番組では「目で聴くテレビ」を製作している「NPO法人CS障害者放送統一機構」を紹介する。高田英一／大嶋雄三／柳喜代子	24	C-1
VHS	DA2003-109	国際フォーラム 障害者差別をなくすために	当団とDPI日本会議が主催した「“障害者差別禁止法”を考える国際フォーラム」のパネルディスカッションの様様。障害者差別禁止法は世界40か国以上にあるが、日本がまだ制定していない点を中心に話を展開する。福島智／東俊裕／平野みどり／北野誠一／永六輔／村田幸子	60	C-1
VHS	DA2003-110	聴覚障害者のみなさんへ 手話の音楽に挑む ～パフォーマンスグループ「Deaf-Unit」～	手話固有のリズムや表現を生かした、新しい「手話の音楽」を創る活動をする若者のグループ。ライブに向けて、ろう者と聴者が協力し合いながら、時にぶつかり合いながら、懸命に新しい音楽を創りだそうとする姿を見つめる。 阪本誠	15	C-1
VHS	DA2003-111	にんげんゆうゆうシリーズ「障害者インターナショナル世界会議札幌大会」③すべてをバリアフリーに	10の分科会のうち日本の障害者の関心が高い「アクセス」分科会を取材。交通機関、コミュニケーションなど様々な分野におけるバリアフリー化をめぐり、世界的な障害者リーダーに最新情報を聞く。 渡返英紀／中西由紀子／マイケル・ウィンター	29	C-1
VHS	DA2003-112	にんげんゆうゆうシリーズ「NHK障害福祉賞から」③手話が育む笑顔と友情	中学校教師の福永泰子さんは、聴覚障害のある生徒とともに初めて手話を学び、徐々に生徒の心を開いていった。手話が、本人だけでなく他の子供たちに影響を与えた様子を伺う。 渡辺英紀／福永泰子	29	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2003-113	にんげんゆうゆうシリーズ 「老後の食・改善作戦」① 40%栄養不足	病院や施設に入所している高齢者の40パーセントに、栄養不足が見られるという衝撃的な調査結果が報告された。栄養士により十分に栄養の管理をされているはずの病院や施設で、なぜ栄養不足が起こるのか。そこには必要栄養量を画一的に決めてきた従来のシステムの不備と、栄養士が高齢者の実情を把握し切れていないという現実があった。高齢者の栄養不足と、それを補う補助食品の簡単な調理について紹介する。 毒蝮三太夫	29	C-1
VHS	DA2003-114	きらっといきる 僕の想い、絵で 語ります ～プロの画家を目指 す河村武明さん～	脳梗塞で倒れた後遺症で、失語症・難聴・右手のマヒがある河村武明さん。笑顔を売りに、ストリートで自作のアクリル画を販売している。絵と詩で伝えるメッセージはいつも大人気。 小林紀子/ジェフ・バーグランド/牧ローニ/河村武明	29	C-1
VHS	DA2003-115	きらっといきる 僕の世界はカメラで広がる ～鳥取ろう学校 尾田将史君～	鳥取ろう学校高等部3年の尾田将史君は、中学1年の時初めてカメラを手にし、コンテストに入賞する先輩たちにあこがれて写真部に入部。現在は中心メンバーとして部活で県外に行くことも増え、全国各地に友達ができた。将来の夢は「鳥取ろう学校の先生になること」と語る尾田君の日常を紹介する。 高田啓一/尾田緑/ジェフ・バーグランド/小林紀子/牧ローニ	30	C-1
VHS	DA2003-116	きらっといきる 聴導犬は夫婦の ホットライン ～“みかん”と暮ら す岸本淑子さん宗也さん～	平成14年5月「身体障害者補助犬法」が成立し、交通機関や公共施設で補助犬の同伴を拒否できないと定められた。大阪市の岸本さん夫妻のもとにいる聴導犬のみかんが、生活に必要な音を8種類記憶し、どんなふうにお二人をサポートしているのかを紹介する。 ジェフ・バーグランド/小林紀子/牧ローニ/山口八千代	29	C-1
VHS	DA2003-119	DoCoMo10周年スペシャル 情 報メッセージ つたえたい	マダガスカル日本人助産婦の牧野幸江さん(69歳)。今までに取り上げた赤ちゃんは五千人、今も忙しい日々を過ごす彼女の日常を取材。メジャーリーガー石井一久投手は、アメリカに渡った心境と家族への思いを告白。F1の佐藤琢磨は、母のためにこそ走ると語る。LDの少年を大きく変えたのは、海洋冒険家堀江謙一さんとの出会い。聴力障害者として初めて薬剤師免許を取得した早瀬久美さん。それぞれのメッセージを伝える。 堀江謙一/牧野幸江/佐藤琢磨/石井一久/早瀬久美/早瀬憲太郎	95	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2003-123	きらっといきる おどりのリズムを 体で感じて ～阿波おどりグルー プ「すだち連」～	徳島県鳴門市にある聴覚障害者の阿波おどり グループ「すだち連」。すだち連は1981年の 国際障害者年を記念してつくられた、障害者の 阿波おどりグループの草分け的な存在だ。す だち連のいきいきとした活動を紹介する。	29	C-1
VHS	DA2004-125	きらっといきる 見える音感じる言葉を演じます ～人形劇団「デフ・パペット・シア ター・ひとみ」～	聴覚障害のある人とない人が一緒に作る日本 で唯一のプロ人形劇団。見た目に面白い楽器 で「見える音」を演出するなど、独自の表現を 生み出してきた。役作りする新人を団員たちが サポートする様子を伝える。庄崎隆志／善岡 修／やなせけいこ	29	C-1
VHS	DA2004-126	きらっといきる心の“バリア”をな くしたい！～石川大輔さん・ミカさ ん夫妻～	石川大輔さん・ミカさん夫妻はともに車いすで 生活している。2人は「バリアフリーコンサル タント」として、講演や専門学校での指導など を行い、障害者の暮らしやすい町づくりを広く訴 えている。「好きなところに行きたい。楽しみたい 」という気持は、健常者も障害者も変わらない 、と訴える石川さん夫妻。2人の姿を通じて、 バリアフリーについて考える。石川大輔／石 川ミカ／牧ローニ	29	C-1
VHS	DA2004-127	福祉ネットワーク 障害者くらし 情報 手のふれあいが盲ろう者 を支える	視覚と聴覚の両方に障害を持つ盲ろう者。現 在全国に約1万3000人の盲ろう者がいるとい う。盲ろう者のコミュニケーション方法は触手 話、指点字、手書き文字など、その人のニーズ によってさまざまな種類がある。番組では、大 阪市の盲ろう者が運営するNPO法人すまいる の取り組みを紹介しながら、盲ろう者を支える サポートのあり方を考える。福島智／堀内万 起子	29	C-1
VHS	DA2004-128	福祉ネットワーク障害者くらし情 報災害から命を守る～障害者の 防災～	甚大な被害をもたらした阪神大震災では、障 害者も多く被災した。災害が起きた時、災害弱 者といわれる高齢者や障害者は、どうしたら自 分の命を守れるのか。横須賀市では、地域と 行政が一体になり、高齢者や障害者を災害か ら守る取り組みを行っている。緊急通報システ ムや、地域の取り組みを紹介しながら、災害か ら命を守る方法を考える。	29	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2004-129	福祉ネットワーク障害者くらし情報NHK障害福祉賞から② 体で感じて打ち鳴らせ！	横浜市立ろう学校では授業に太鼓の演奏を取り入れている。聴覚に障害を持つ子供たちも、太鼓なら、その振動を感じることができるからだ。教頭の石田さんは太鼓の指導にずっとかかわってきた。「いつか子供たちと海外で公演したい」夢に向かって練習を続ける姿を追う。	29	C-1
VHS	DA2004-130	被爆58周年 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典「平和への誓い」山崎榮子さん 2003. 08. 09	被爆58周年となった2003年8月の「原爆の日」。その祈念式典で、ろうあ者として初めて被爆の惨状を訴えた山崎榮子さん。手話で語られるその証言は、多くの人々の心を打った。すでに世を去ったろうあ友人たちに代わり、平和の尊さと戦争の惨状を訴える。この作品は、被爆58周年長崎原爆被爆犠牲者慰霊平和祈念式典の映像です。資料映像提供：NHK	7	C-1
VHS	DA2005-138	きらっといきる 私たちのテレビは目で“聴く”！ ～聴覚障害者のためのテレビ局～	『特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構』。聴覚障害者自身が番組制作に携わる、聴覚障害者のための放送局がある。阪神淡路大震災時に聴覚障害者への情報保障が行き届かなかったことをきっかけに設立された。野球の実況にも、手話と字幕で同時に情報保障する。これらのリアルタイム放送は、緊急災害時の訓練にもなっているという。放送局スタッフの奮闘ぶりを紹介する。ジェフ・バーグランド／小林紀子／牧ロー二	29	C-1
VHS	DA2005-139	福祉ネットワーク シリーズ 「脳卒中 復帰への道」①励まし あう患者たち ～ホームページでつなぐ絆～	脳卒中によって後遺症が残っても社会復帰を願う人が多い。その人たちの心のよりどころとなっているホームページがある。主催する金子さんは、脳卒中で倒れ後遺症が残ったが社会復帰を遂げた。その経験から、患者本人やその家族にアドバイスを送る。	29	C-1
VHS	DA2005-140	福祉ネットワーク シリーズ「脳卒中 復帰への道」②三たびの出血を乗り越えて～元医師・後遺症との戦いの記録～	かつて整形外科の医師だった山田さんは、40歳の若さで脳卒中に襲われ、高次脳機能障害という後遺症が残った。山田さんは医師としての経験を生かし、自分の症状を客観的に見つめ、自分に合ったリハビリを行っている。脳卒中で倒れ、重い後遺症が残った1人の女性を紹介する。	29	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2005-141	福祉ネットワーク 聞こえなくても踊りたい ～ろう者ダンサーの挑戦～	高木理叶(りか)さんは日本では数少ない手話ダンサー。3歳の時、高熱で失聴した高木さんは、幼い頃から歌や踊りが大好きでピンクレディーにあこがれていた。38歳でそれまで勤めていた会社を辞め、ぷプロダンサーになるため専門学校の間をくぐった。今ではろう者にダンスを教えるかたわら、ろう者だけのダンスユニットをつくり活躍している。高木理叶	29	C-1
VHS	DA2005-142	福祉ネットワーク たくましく育て 難聴の子どもたち ～京都・かめかめクラブ～	京都市にある「教育ASSISTきこえ・ことばのへや」は、民間の難聴児教室。幼児から高校生までの難聴児サークルである。集団の中で孤独感を味わいがちな彼らが、人とコミュニケーションする喜びを味わうことを活動目的としている。自ら台本を書いて表現する創作劇においては、単なる演劇活動にとどまらず、生きる意味や目的を求めることにつながっている。舞台までの厳しい練習が続く2週間を追う。町永俊雄／片山高／かめかめクラブの子どもたち	29	C-1
VHS	DA2005-143	福祉ネットワーク 届け、「みんなの歌」 ～難聴のフォークデュオ・アツキヨ～	アツキヨの2人が、夢や曲作りについて語る。また、北千住で毎週行っている路上ライブの様子が紹介されるほか、スタジオで「僕らをのせたバスは」と「kiseki」の2曲を歌う。アツキヨ	29	C-1
VHS	DA2005-146	きらっといきる ものづくりは俺たちが支え ～東大阪 聴覚障害の熟練工たち～	東大阪市の従業員220人の「パイプねじ切り機」の工場。ここでは、65年前から聴覚障害者を雇用してきました。現在14人の聴覚障害者が働いています。週3回の朝礼には必ず手話がつき、社員のほとんどが手話を理解しています。	29	C-1
VHS	DA2005-147	ろうを生きる難聴を生きる手話と 教育～世界ろう連盟 ヨキネン さんに聞く～	2003年7月に世界ろう連盟理事長になったマルク・ヨキネンさん。ヨキネンさんは大学でろう教育の教師を養成する仕事をしている。年は44歳。母国フィンランドのろう教育や手話事情について、また国連で協議が続いている障害者の権利条約や国際協力などについてお話を伺う。インタビュアーは大杉豊さん。「なるほどコーナー」は、国際手話の単語について。マルク・ヨキネン／大杉豊／宮本真紀	15	C-1
VHS	DA2005-148	福祉ネットワーク うちの子どもは世界一絵で育む きずな	自閉症の障害をもつ健君は、コミュニケーションが苦手。一方、お母さんは聴覚障害で息子の声が聞き取れず、子育てに悩む日々を送っていた。言葉でコミュニケーションをとることのできない親子が、絵という表現方法を見つけたとき、初めて心を通い合わせることができた。	29	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2005-149	福祉ネットワーク 光と音を失っても ～全国盲ろう 者大会から～	ふだん、なかなか外に出ることが少ない盲ろう者にとって、年に1回開かれる全国大会は、仲間と触れ合える唯一の貴重な機会である。その全国大会の様子を紹介するとともに、盲ろう者の現状と課題や、パソコンを活用した新しいコミュニケーション方法にも、スポットを当てる。福島智	29	C-1
VHS	DA2005-150	その時君は輝いた～アテネパラ リンピックの12日間～	136の国と地域から、約4000人の選手が参加したアテネパラリンピック。日本は163人が参加し、金17個、銀15個、銅30個という過去最高の成績を収めた。一人ひとりの選手が自分のゴールを目指し努力する過程と、障害をものともせず、力の限り競技に挑む姿を追う。	90	C-1
VHS	DA2005-151	体いっぱい原爆を語りつく	平成15年8月9日。長崎平和祈念式典で、ろうあ者として初めて被爆者代表に選ばれ、手話で平和への誓いを語った山崎榮子さん。式典後は全国各地から講演の依頼が殺到した。次世代の人々に原爆を語り継ぐことが自分の使命だという山崎さんの忙しい日々を追う。山崎榮子／長谷川勝彦	49	C-1
VHS	DA2005-152	にんげんドキュメント僕には仲間 の声が見える～近畿大学アメフト 選手の挑戦～	近畿大学4年の西村隆幸さんは、生まれつき耳が聞こえない。だが大学のアメフト選手として、2年生の時からレギュラーとして活躍してきた。聞こえないから人一倍努力した、と語る西村さんと、彼を支える両親や部員の姿を紹介する。	43	C-1
VHS	DA2005-156	わたしはあきらめない ピアニスト フジ子・ヘミング	5歳でピアノを始め、天才少女と注目されたフジ子。世界的な有名な音楽家にも認められた。しかしデビューしようとした矢先、フジ子は両耳が聞こえなくなってしまう。それからピアニストとして活躍するまでのフジ子の姿を紹介する。フジ子ヘミング／長嶋一茂	29	C-1
VHS	DA2006-001	ろうを生きる難聴を生きる 戦後60年手話で語る東京大空 襲	昭和20年3月10日未明、東京の下町を襲ったアメリカの爆撃機B29は、大量の焼夷弾(しょういだん)を投下し、町を火の海にした。当時北区に住んでいた細山芳子さんも、この東京大空襲を体験した1人だ。空襲当日の生々しい体験を伺う。:出演:細山芳子	15	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2006-002	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ戦後60年ろう者が語る 沖縄戦	沖縄は、日本で唯一の地上戦があった土地だ。那覇市に住む普久原(ふくはら)初子さんは、1945年の沖縄地上戦を体験した。民間人を巻き込んだ悲惨な地上戦の中、聴覚障害者の苦労は大変大きなものだった。戦争の跡地をたどりながら、普久原さんにお話を伺う。: 出演: 普久原初子	15	C-1
VHS	DA2006-003	ろうを生きる難聴を 生きる海からもらった勇氣 ～海洋写真家 井上慎也さん～	井上さんは小学校5年生の時に難聴と診断され、高校時代にはほとんど聞こえなくなったという。そんな中、「大好きな海の世界なら道が開けるのでは？」と沖縄の大学に進学、ダイビングクラブに入部し活動する中で海洋写真家になる決意をした。「自分の心と対話して、本当に望んでいることなら頑張れるし、かなえられると思う」と語る井上さんは、自分の写真を通して海を守りたいと考えている。: 出演: 井上慎也	15	C-1
VHS	DA2006-004	ろうを生きる難聴を生きる 難聴者への情報保障	2005年に開かれた愛知万博での難聴者への情報保障について、実際に具体的な働きかけを行った名古屋難聴者・中途失聴者支援協会の高木さんからお話を伺うとともに、万博会場での情報保障の様子を取材映像で紹介する。また、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会理事長の高岡さんに、難聴者への情報保障の実状とそれを踏まえた今後の全難聴の活動について伺う。: 出演: 松森果林／高木富生／高岡正	15	C-1
VHS	DA2006-006	日本聴導犬協会紹介ビデオ20 04年制作	聴覚障害者の耳の代わりとなって生活を助ける聴導犬。そして身体に障害のある人の生活を助ける介助犬について紹介する。聴導犬はどんな仕事を行うのか。どんな犬が聴導犬に向いているのか。どんな訓練を受けて聴導犬になっていくのか。日本聴導犬協会では、聴導犬の訓練と認定の両方を行っており、認定試験の様子も紹介される。社会福祉法人日本聴導犬協会制作: 出演: 有馬もと／岸本淑子／澤和ひかる／大浦加津美	26	C-1
VHS	DA2006-009	いきいき！夢キラリぼくの天職は …理容師 第86回	平成17年12月。年に一度開かれるジャパンヘアデザインコンテストのブロー部門に挑戦するろうあ理容師・上原正裕さん。2歳の時、髄膜炎を患い、薬の副作用で聴力を失った彼が、理容界の世界チャンピオン・田中シオ氏の指導でコンテストに挑戦するまでになった過程を描く。	27	C-1

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2006-011	ろうを生きる難聴を生きる “障害者権利条約”と手話	国連で開催された「障害者権利条約」の中に、手話をもっと普及するための規約を盛り込もうと各国の聴覚障害者が運動を進めている。条約制定に向けた最新状況と、手話の更なる普及のためには何が必要か、高田英一氏にお話を伺う。出演者：高田英一／小椋英子	15	C-1
VHS	DA2006-012	ろうを生きる難聴を生きる 手話落語 ～向山秀代さん～	数少ない女性の手話落語家・向山秀代さん。向山秀代さんが表現力豊かに、登場人物を演じ分け、「富くじ」を演じる。出演者：向山秀代	15	C-1
VHS	DA2006-157	きらっといきる いっしょに笑おう！ ～ろう者劇団・街さん夫婦～	ともに聴覚障害がある街(つじ)さん夫妻は、手話を取り入れた喜劇作りに取り組んでいる。聴覚障害者だけを対象にした手話劇でなく、聞こえる人も、どちらもが同時に笑える劇をめざし奮闘する様子を紹介する。	29	C-1
VHS	DA2006-158	福祉ネットワークシリーズ 発達障害の子どもたち 小学生への支援	LDやADHD、自閉症といった発達障害は、はた目には障害の状況が見えにくく、どう取り組んでいいのかわからない場合が少なくない。こうした発達障害をもった子どもを、親や教師はどのように支援すればよいのだろうか。今回はアスペルガー症候群の児童のケースを通して、小学校における支援のあり方を考える。	29	C-1
VHS	DA2007-001	きらっといきる 明日につな がれ、ちいさな「できた！」 ～聴覚障害・安藤美紀さん～	生まれつき耳が聞こえない安藤美紀さんは、2005年小さなパソコン教室を開いた。生徒の大半は障害がある子どもたちだ。「できた！」という気持ちを大切に、ゆっくり少しずつ課題をクリアして自信を付け、パソコンでいるんな力を社会にアピールしてほしい、と安藤さんはいう。パソコンは障害者が社会とつながる大きな力になると考える安藤さんと、教室で学ぶ子どもたちを紹介する。安藤美紀／ジェフ・バーグラント／小林紀子／牧ローニ	29	A-3
VHS	DA2007-002	福祉ネットワーク 私が出会った手話の世界 おば あちゃんと話したかった～聞こえ ない世界と聞こえる世界の間で ～	半澤宏美さんは、耳の不自由な祖母澄さんと同居を始めた。宏美さんの母親の啓子さんは、澄さんと昔から手話で自然に話してきた。母と祖母とが話す自在な手話のおしゃべりに、宏美さんはまだついていけない。おばあちゃんと暮らし始めて1年。手話の世界に入っていることとしていく宏美さんの日常をご紹介します。半澤宏美	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2007-003	福祉ネットワーク 検証・障害者自立支援法	障害者自立支援法はこれまでの障害者の種類別の区分けが無くなるなど新しい特色が打ち出されているが、一方で利用者負担が増えるなど波紋も呼んでいる。番組では完全施行された障害者自立支援法を施設の側から検証していく。 藤井克徳	29	A-3
VHS	DA2007-004	きらっといきる つながれば心に聞こえる ～聴覚障害・片山剛さん～	片山剛さんは40代前半でコレステリン中耳炎を発症し、少しずつ聴力を失っていった。現在、片方の耳がわずかに聞こえる程度だ。大学で文楽などの伝統芸能を教える片山さん。文楽にとって、音楽や太夫の声は欠かせない要素だ。聴力を失うことで、学生たちの指導や文楽の批評活動などを続けていけるのか不安な日々を送った片山さんだが、大学の教員仲間や学生の協力を得て、今新たな気持ちで仕事や生活に向き合っている。 出演:片山剛	29	A-3
VHS	DA2007-006	ろうを生きる難聴を生きる 本の魅力を知ってほしい ～「手とおはなしの会」の 取り組み～	石川県で行われている、「ろうの子どもに手話で絵本を語る活動」を紹介する。ろう学校に通う高校生が、初めて語り手に挑戦する。ろうの子どもが手話で絵本に触れることの大切さや、日本語から手話への翻訳の難しさを、米内山明宏氏が語る。 出演:米内山明宏	15	B-3
VHS	DA2007-007	ろうを生きる難聴を生きる 手話通訳派遣事業の これから ～障害者自立支援法を 受けて～	障害者自立支援法を受けて、大きく変わろうとしている手話通訳派遣制度について考える。これまで都道府県が行ってきた手話通訳派遣制度を、市町村が担わなければならなくなった。しかし、十分な通訳者の確保は難しい。そんな中、伊豆市が始めた画期的な方法を紹介する。全国手話通訳問題研究会副運営委員長の小出新一氏に、制度の変化や今後の課題についてたずねる。 出演:小出新一	15	B-3
VHS	DA2007-012	ゲツヨル 極上の月夜 緊急来日！視聴率74% 10億人が泣いた ‘千手観音’	中国障害者芸術団の団員で、聴覚障害の21人の男女が披露するパフォーマンス「千手観音」は、中国国内はもちろん世界中で絶賛された。聴覚障害である彼らが、一糸乱れぬ美しい動きを披露するためには、想像を超えた努力の積み重ねがあったことが、取材を通して明らかにされる。スタジオで演じられる「千手観音」は必見。 出演:三宅裕司／松岡充／三輪明宏／松雪泰子	58	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2007-13	ゲツヨル 極上の月夜 10億人が泣いた “千手観音” 再び登場 感動！初公開！ 完全密着！少女達の素顔	中国の障害者芸術団による舞踊「千手観音」。21人の聴覚障害者によるパフォーマンスは、見る者を感動させずにおかない。番組では踊りの先頭を務める女性の引退により、後継者候補となった2人の少女に密着する。なぜ彼女たちの踊りは人を感動させるのか。その秘密に迫る。出演：三宅裕司／美輪明宏／菊川怜／三船美佳／松岡充	46	B-3
VHS	DA2007-014	徹子の部屋 薬剤師 早瀬久美さん	早瀬久美さんは日本で初めて薬剤師の免許を取得した聴覚障害者だ。聴覚障害者は、薬剤師法の欠格条項によって長い間、薬剤師の免許を取ることはできなかった。長年にわたる運動の結果、2001年ついに法改正が行われ、早瀬さんは第1号となった。免許を取得するまでの苦労、ご両親のことなどさまざまな経験を伺う。出演：黒柳徹子／早瀬久美	26	B-3
DVD	DA2007-015	音のない時を刻んで	聞こえる人と聞こえない人とのコミュニケーションの壁は大きく、そのために生活の中でさまざまな問題が生じることが多い。この作品は聴覚障害者が東京都ろうあ者更生寮を利用し、地域で生活していく様子(1988年から1993年)を記録した映画である。	51	A-3
DVD	DA2007-016	ことばへの思い	東京都聴覚障害者生活支援センター(旧東京都ろうあ者更生寮)の自主制作作品。ことばの世界から取り残されてきた一人の入所者が、少しずつ自立へ向かっていく過程や、ことばの学習、地域に開かれた演劇祭など、当時の施設内での取り組みが描かれている。聴覚障害のもつ不自由さや、「共に歩む」ことの大切さが訴えられる。	37	B-3
VHS	DA2008-001	福祉ネットワーク シリーズ社会起業家の挑戦 “オフィスマッサージ”をどうぞ ～盲ろう者の働ける企業を 目指して～	目と、耳に障害がある盲ろう者はコミュニケーションの取りづらさから働き先がほとんどない。中にはマッサージ師の国家資格を取り、働く意欲も高いのに仕事が無い盲ろう者までいる。その盲ろう者たちに雇用の場を作り出そうとする起業家がいる。社会起業家の田辺大(たなべゆたか)さん。田辺さんが始めた事業は企業への訪問式マッサージサービス。契約した企業の空き会議室に簡易ベッドを持ち込み、盲ろう者のマッサージ師を派遣するというものだ。マッサージサービスを通じ盲ろう者の雇用創出、健常者と障害者の出会う場作りに挑む田辺さんの取り組みを追った。(NHK『福祉ネットワーク』HPより)出演：服部 篤子(お茶の水女子大学 非常勤講師)/町永俊雄	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2008-002	福祉ネットワーク 緊急点検・ 日本のセーフティネット 第2回 病院がつぶれる ～地域医療は守れるか～	<p>財政学者・金子勝さんが行く「緊急点検・日本のセーフティネット」第二弾。今回のテーマは医療。国は増え続ける医療費を抑制しようと医療制度の抜本的な改革に乗り出しているが、それは現場にさまざまな痛みも生み出している。日本の医療はどこへ向かおうとしているのか、4回シリーズで伝える。</p> <p>新潟県糸魚川市。人口5万の町を支えてきた中核病院の一つ、糸魚川医療生協・姫川病院(114床)が経営破たんのため、今年6月、突然閉鎖した。経営悪化の背景には、医師不足、度重なる診療報酬の切り下げなど、国の医療政策が大きく影響している。病院の閉鎖は、さらに大きな波紋を広げている。糸魚川市にあった、もう一つの一般病院・糸魚川総合病院に患者が集中し、混乱が続いているのだ。病院閉鎖に揺れる糸魚川地域を舞台に、地域医療の現状をレポートする。(NHK『福祉ネットワーク』HPより) 出演:金子勝/町永俊雄</p>	29	A-3
VHS	DA2008-003	福祉ネットワーク “里親”って 知ってますか？	<p>さまざまな事情から、実の親とは暮らすことのできない子どもたち。最近では、児童虐待の急激な増加も受け、その数は増え続けている。そうした子どもたちを家族の一員として迎え入れ、生活をともにするのが里親たち。子どもを取り巻く状況がかつてないほど厳しい現在、里親に社会的な注目が集まっている。</p> <p>シリーズの1回目は、具体的なケースを通して、里親の実情や思いを探り、里親制度が直面している課題や、里親制度が持つ可能性について、考えていく。(NHK『福祉ネットワーク』HPより)出演:庄司 順一(青山学院大学教授)/町永俊雄</p>	29	A-3
VHS	DA2008-004	日曜フォーラム 超高齢化社会と難聴	<p>超高齢化社会を迎え、注目されている「加齢と難聴」の最新の研究をふまえ、そのケアを話し合う。パネリストは慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科教授の小川郁氏、筑波技術大学学長の大沼直紀氏、日本補聴器工業会理事・オーティコン株式会社の赤生秀一氏、元プロ野球選手・監督の中西太氏。(～東京・千代田放送会館で録画～)小川郁/大沼直紀/赤生秀一/中西太/好本恵</p>	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2008-005	きらっといきる 手と手が心を開いていく ~「いこいの村」の仲間たち~	京都のろう重複障害者施設「いこいの村」で働く聴覚障害者の難波さんと、聴覚と視覚に障害を持つ入所者の山口さんがゲスト。難波さんの施設での働きぶりや苦勞、施設内で結婚された山口さんと妻・保子さんのなれ初めや、助け合い支え合う生活の様子が紹介される。ぴ〜ぷるぴ〜ぷるのコーナーは、ALSという難病で入院生活をおくる西尾さんの詩を紹介。難波学司／山口清臣／ジェフ・バーグランド／小林紀子／牧ローニ	29	B-3
VHS	DA2008-006	ふるさと発 笑顔と手話で世界をひらけ	聴覚障害者・田中作治さんの活動を紹介する。 障害を気にせず、誰とでも気さくにコミュニケーションする田中さん。もともと内気な性格だったが、40年前のバイク旅行で、多くの人と触れ合う喜びを知った。 冬の山で週に一度行われる自然観察会で、田中さんはボランティアガイドを務める。耳が聞こえる参加者にも工夫してコミュニケーションをとり、多くの人に雪山の魅力を伝えている。 また、月に一度小学校を訪れて子どもたちと交流して手話を教え、地元のろうあ者たちには人と交流することの楽しさを知ってもらうため、ある方法を提案する。田中作治	25	B-3
VHS	DA2008-007	福祉ネットワーク 林家正蔵が語る手話の世界	手話落語に取り組む、落語家の林家正蔵さん。教育テレビ放送の「NHKみんなの手話」で生徒役に挑戦することになった。正蔵さんはなぜ手話を始めたのか、手話との出会いや手話によせる熱い思いを聞く。 2か月の特訓で挑戦した初めての手話落語だが、聞えない人向けの落語ならではの難しさがあり、自分の手話落語に満足できなかった。手話を上達させたいと、「NHKみんなの手話」への出演を決める。林家正蔵／町永俊雄	29	B-3
VHS	DA2008-008	福祉ネットワーク 世界が定めた障害者の権利	2006年12月13日、第61回国連総会本会議で、「障害者権利条約」が採択された。この条約は20か国が批准した時点で発効するもので、2008年4月3日までに20か国が批准し、2008年5月3日に発効した。 この権利条約の基本的な考え方について、「障害者権利条約」策定特別委員会 日本政府顧問の東氏に伺う。東俊裕	29	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS/ DVD	DA2008-009	きらっといきる 振動を感じて駆け抜けろ！ ～聴覚障害・西田文彦さん～	奈良県に住む聴覚障害者の西田文彦さんは、世界で活躍するプロレーサーを目指している。しかし周囲からは障害者がレースをすることは危険だと言われていた。夢をあきらめきれなかった西田さんは、ある人との出会いが大きなきっかけとなり、プロレーサーの夢に向かって進み出す。西田さんの夢に向かっての挑戦を紹介する。	29	B-3
VHS/ DVD	DA2008-010	きらっといきる 波に乗り世界へ ～聴覚障害・竹本裕行さん～	竹本裕行さんは徳島聾学校に通う16歳。夢はプロのサーファーになること。ろう者の父親も、かつてはデフサーファーの日本第1位だった。聾学校の寄宿舎に入っているため練習が十分にできなかったり、卒業後の進路のことなど悩みも多い。世界を目指す竹本さんの試行錯誤の日々を追う。竹本裕行／牧ローニ／ジェフ・ランバート	29	B-3
VHS	DA2008-014	ポカポカ地球家族 手話で語る夫婦の夢 ～フランス・パリ～	パリに住んでいる好子さんとご主人のゲイトン。生まれつき聴覚に障害を持つゲイトンさんは、バイオリンの弓の修理やオリジナルの弓を作る職人をしている。妻の好子さんとは手話でコミュニケーションをしている。2人の暮らしぶりを追う。	25分	B-3
VHS	DA2008-017	きらっといきる 今度は私が社会 に貢献したい ～下肢機能全廃・ 石垣まりやさん～	札幌市に住む石垣まりやさんは、分娩マヒによる右手のマヒと、病氣治療による両足のマヒがあり、車イスで生活している。石垣さんは、この春札幌市の公務員となることが決まった。「これまで周囲の人から助けられてきた分、今度はわたしが役に立ちたい」と願い、自分のできる何かを探し始めた石垣さんの姿を追う。石垣まりや／牧ローニ／ジェフ・バーグランド／小林紀子	29分	A-3
VHS	DA2009-001	福祉ネットワークシリーズ 障害 者の就労(1) “就労移行新事 業”は今	障害者自立支援法施行から2年。「福祉から就労へ」との理念を体現する新事業として注目された「就労移行支援事業」。多くの施設は、一般企業への就労に結びつけるノウハウがない、利用者にあう求人がないなどの課題を抱え模索を続けている。「支援事業」の現状と課題を検証する。	29	A-3
VHS	DA2009-002	福祉ネットワークシリーズ 障害 者の就労(2)働き続けるしくみをつくる	働くことを希望する障害者が、せっかく就職しても、すぐに離職してしまうことが問題になっている。どうすれば障害者にとっても、企業にとってもメリットのある働き方ができ、長時間の就労を実現できるのか。障害がある人が安心して働き続けるために必要な支援について考える。	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DA2009-003	BS成人の日スペシャル 手話のキャンパス アメリカとろう社会の今	アメリカにあるギャローデッド大学は世界唯一のろう者のための総合大学だ。キャンパスでは、アメリカのろう者の母語であるアメリカ手話が飛び交う。番組では、手話を知らずに育ち、大学で初めてろう社会に出会い戸惑う新入生の姿や、夢を追いかけるろう学生の姿、聴者の親の悩みなどを紹介。ろう者の社会進出が進むアメリカの現状と、ろう社会の抱えるさまざまな課題を伝える。	75	B-3
DVD	DA2010-001	カラフル！千恵のまいにち日つき	としおか千恵ちゃんは小学生の女の子。学校であったできごとを毎日日記に書いている。友だちのこと、先生のこと、お勉強のこと。学校で友だちとけんかをして、次の日には笑顔で仲直り。 ダウン症の女の子の生活の一コマを送る。	15	A-3
DVD	DA2010-002	福祉ネットワーク 受け容(い)れる勇気をもって	奥田哲生さん(41歳)は、車いすで生活しながら自宅で塾を開いている。奥田さんは28歳でギラン・バレー症候群を発症し手足の自由を失った。突然障害者となった自分を受け入れることができず、家に引きこもりがちだったが、笑顔を取り戻すきっかけとなったのは、塾の生徒たちとの交流だった。奥田さんと生徒たちとの交流の日々を追う。	29分	A-3
DVD	DA2010-003	きらっといきる “すれ違い”からはじまったけど...	大学4年生の大畑明子さんは、生まれつき耳が聞こえない。大学でスポーツ行動学を勉強している明子さんは、「卒業後は、子どもたちにスポーツを教えたい」と考えている。 スポーツクラブでの実習に臨んだ大畑さんの姿を追う。	29	A-3
DVD	DA2010-004	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(1)	44回目を迎えたNHK障害福祉賞。今回は、455編の作文が寄せられた。番組では、その中から2名の作品を取り上げ紹介する。 1日目は、小山田弘佑さん(28歳)。小山田さんは軽度の知的障害があり、そのために長年いじめを受けていた。また十代で母親が病死するというつらい体験をしたこともあって、20歳を越えたころから自殺未遂を繰り返すようになった。 そんな彼が、作文を書くことで自分と向き合い、立ち直ってきた体験を語る。	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2010-005	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(2)	NHK障害福祉賞を紹介する2日目。三重県の岡田くめ子さんは統合失調症の娘・彩さんとの闘病についてつづつた。彩さんは親のすすめで進学した大学が自分に合わず心を病んでしまった。病気をきっかけに娘の心と向き合ったくめ子さんは、「娘を最高の回復者第1号にしよう」と決意。やがて彩さんは回復し、自分が大好きだった本にかかわる仕事・図書館司書に就くまでになる。	29	A-3
DVD	DA2010-008・009	ろうを生きる難聴を生きるシリーズ・被爆を語る～聞こえない人と情報について考える～(2008年7月27日放送)	長崎の山崎榮子さんは原爆被爆者。平和祈念式典では、迫真の手話で被爆の恐ろしさ、平和の誓いを訴えた。疎開先で原爆投下の8月9日を迎えた山崎さんは、その日の夕方爆心地に入り被爆した。被爆と同時に長らく山崎さんを苦しめたのは、ろう者であるが故に情報から閉ざされ、真実を知るのが遅くなったことだ。	15	B-3
DVD	DA2010-010	ろうを生きる難聴を生きる今 要約筆記を考える～字幕付与技術シンポジウム～	聴覚障害者にとって大切な情報保障手段の1つ要約筆記。要約筆記で聴覚障害者に正確にわかりやすく伝えるには何が必要なのか。要約筆記について考えるシンポジウムの様子や最新の音声自動認識システムを紹介する。	15	B-3
DVD	DA2010-016.017	ろうを生きる難聴を生きる本全米ろう連盟代表に聞く～アラン・ホーウィツさん～ ろうを生きる難聴を生きるノートテイクは今～四国学院大学の取り組み～	元全米ろう連盟代表、アラン・ホーウィツさんが、現在のアメリカの聴覚障害者が抱える課題について語る。一番大きな課題はろう教育で、ろう児が適正な教育を受けられるよう連盟が最優先で取り組んでいるという。 大学の講義を受講する聴覚障害者に欠かせない情報保障の1つ、ノートテイク。しかし大学により、その取り組みは様々だ。 香川県にある四国学院大学での取り組みを通して、大学でのノートテイクの実情と課題を探る。	15 15	B-3
DVD	DA2010-021	新春ヒューマンドラマスペシャル 筆談ホステス	銀座でナンバーワンホステスの斉藤里恵さん。彼女は耳が聞こえない。しかしその障害を乗り越えるために始めた筆談が客の心をつかみ癒している。彼女がナンバーワンホステスになるまでの道のりをドラマで再現する。	93	B-3
DVD	DA2010-024	爆笑問題のニッポンの教養 File074 私は ここに いる	全盲ろうという障害を持ちながら、日本で初めて大学教授になった福島智氏。専門は障害学で、障害学とは、そもそも障害とは何か？を考える新しい学問だ。 爆笑問題の2人と福島先生が、生きる意味や障害について語り合う。	29	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2010-027.028	ろうを生きる難聴を生きる ・中途失聴者にとっての手話 ～今求められる学習環境～ ろうを生きる難聴を生きる 無くせ情報バリア	中途失聴の人が手話を覚えようとする、まず学習の場のないことで苦勞する。自治体などで行っている手話講習会は、ろう者とのコミュニケーションを前提に、聞こえる人を対象にしていることが多いからだ。 数少ない中途失聴者を対象とした講習会の模様を通して、その必要性を考える。 中園秀喜氏の著書「聞こえのバリア解消への提言」を通して、聴覚障害者のバリアについて考える。 特に病院や公共機関、交通機関など、情報保障の必要性の高い場においても十分な保障の行われていない現状について、その解決方法も含め、中園氏本人からお話を頂く。	15 15	B-3
DVD	DA2010-029.030	ろうを生きる難聴を生きる ・夢は七大陸最高峰制覇 ～大窪康之さん～ ろうを生きる難聴を生きる ここが知りたい！聴覚障害者と 裁判員制度	聴覚に障害を持つ大窪康之さんは、7大陸の最高峰すべての登頂を目指し、平成21年4月の時点で、キリマンジャロとビンソンマシフの登頂に成功している。大窪さんをスタジオにお招きして、登頂時の映像も交えながら今後の夢を語っていただく。 平成21年5月から始まった裁判員制度。裁判員は20歳以上の有権者からくじ引きで選ばれる。実際に聴覚障害者が専任された場合、どのように参加することになるのか、弁護士の田門浩氏に説明していただく。	15 15	B-3
DVD	DA2010-031・032・033	ろうを生きる難聴を生きる ろう者が作るアクション映画 ろうを生きる難聴を生きる 手話が結んだ国際結婚 ろうを生きる難聴を生きる どう広めるか“ろうあヘルパー”	ギャローデッド大学で映画製作を専攻したエミリオさんは、日本など4か国のろう者が参加したアクション映画を製作している。手話がパワーを持つ言語であることを世界中の人に知らせたいというエミリオさんの映画製作現場を紹介する。 栃木県に住む渡邊さん夫妻は、どちらもろう者。奥さんは台湾で生まれ育ったが、2人はごく自然に手話でコミュニケーションしている。日本の手話と台湾の手話はとても似ていることが2人の距離を縮めたという。日本の手話と台湾の手話で生活する2人の日常を紹介する。 大阪聴力障害者協会が始めた、ろうあヘルパー派遣事業は、まだ全国には広まりを見せていないのが実情だ。この協会の先駆的な取り組みを紹介し、ろうあヘルパーの普及について考える。	15 15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2010-034・035	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ人工内耳① ～大人のケース～ ろうを生きる難聴を生きる 人工内耳② ～子供のケース～	高度の聴力障害の人の聞こえを補う人工内耳。15年前に保険が適用され、今までに6000人が手術を受けた。現在も毎年500人前後が手術を受けているという。人工内耳について医療現場の現状を大人のケースと子どものケースでシリーズで紹介する。 聞こえを得る治療手段として注目を集める人工内耳。術後のケアは大人と子どもでは大きく違いがあるという。人工内耳の手術を受けた子どもに行う言語を獲得するためのトレーニングなどについて紹介する。	15 15	B-3
DVD	DA2010-036・037	ろうを生きる難聴を生きる 人形劇で広がる世界 デフパペットシアターひとみ ろうを生きる難聴を生きる たたけ！身体に響く伝統の音 小倉祇園太鼓 聾鼓会	ろう者と聴者が共に活動する劇団、デフパペットシアターひとみ。人形劇を通じて、ろう者たちの活躍の場を広げ続けたひとみの活動の軌跡を追う。 北九州・小倉の夏を彩る小倉祇園太鼓。100以上の山車が練り出し太鼓を打ち鳴らす。聾鼓会はろう者が中心となって結成された。伝統の小倉祇園太鼓を守り続ける聾鼓会を取材する。	15 15	B-3
DVD	DA2010-040	石橋勝のボランティア21 手話狂言で伝えるメッセージ ～西川慧子さんの挑戦～	日本が誇る古典芸能のひとつ「狂言」。 主として科(しぐさ)と白(せりふ)によって表現されるこの芸能に挑戦を続けているのが西川慧子さんです。 実は西川さんは聴覚に障害があります。彼女たちが演じているのは、手話で台詞を語る手話狂言なのです。「聞こえないことは個性」そう語る西川さん。 35年も前、地元で初となるボランティアサークルを立ち上げ、手話の普及に尽力。今も彼女を支える人々とともに、障害がある人たちのために幅広い活動を続けています。(テレビ大阪HPより)	25	B-3
DVD	DA2010-041	ヒューマンドキュメンタリー “私の家族”	小学生と中学生の3人の子どもを育てるある一家。家族の間に血のつながりはない。子どもに恵まれなかった夫婦は15年前、NPOを通じて生後数か月の赤ちゃんと特別養子縁組を行い、さらに2人を迎え育ててきた。子どもたちには産みの親が別にいることを隠さず伝えてきたが、最近12歳の長女が「産みの母に会いたい」と言い始めた。親子とは？家族のきずなとは何なのか？子どもが成長の節目を迎えた家族の姿を通して見つめる。	43	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2010-042	福祉ネットワーク うちの子どもは世界一 ぼくと音楽のたのしい関係	小柳拓人さん(16歳)は自閉症で落ち着きがなく集団行動や、家族とのコミュニケーションがうまくいかなかった。5歳で音楽教室に通わせると通常、子どもが苦手とする「同じことを反復練習する」などといったことがピタリとはまりみるみる上達。音楽を通して場面に応じた行動をすることを次第に身につけていく。拓人さんの日常を紹介しながら、同世代の若者たちや自閉症や発達障害について正しく理解し、一人一人の個性を大切に生きるということを考える。	29	A-3
DVD	DA2011-001	福祉ネットワーク シリーズ地域からの提言 (1) 地域みんなで 子どもを育てる	新潟県上越市では10年以上前から市営の保育園「ファミリーヘルプ保育園」を開設。「土日だけ預かって欲しい」、「急な仕事が入った時だけ預かって欲しい」といった、従来の行政が対応しきれなかった市民のさまざまなニーズに応えている。しかも24時間の受け入れが可能なので、緊急時など母子がいつでも駆けこめるセーフティーネットとしても機能してきた。また、住民との連携にも注力していて、子育てする母親たちが作るNPO「マミーズ・ネット」と情報交換を行い、ベビーベッドが充実した施設を作ったり、父親や企業に子育てを理解してもらうための企業研修を支援したりしている。 どうしてこのようなユニークで効果的な対策が実現できるのか、財政学者の沼尾波子さんが検証する。(NHKHPより)	29	A-3
DVD	DA2011-002	ハートをつなごう 「若者のこころの病」(1)	統合失調症、うつ病など、心の病の多くは若いころにその芽があると言われ、早期に支援することの有効性は、精神医療界の世界的なトレンドになっています。そこで、「若者のこころの病」を2回にわたって見つめます。 前回2009年12月8日放送の『ハートをつなごう NHK障害福祉賞(2)』(DA2010-005)に出演し、放送後大反響だった岡田彩さんが再出演されます。 第1回は彩さんの軌跡を振り返りながら、若者がこころの病を発症する背景に何があるのか？そしてどうサポートしていけばいいのか？当事者の悩みや思いをじっくりと語り合います。(NHKHP参照)ソニン/石田衣良	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2011-003	ハートをつなごう 「若者のこころの病」(2)	統合失調症、うつ病など、心の病の多くは若いころにその芽があると言われ、早期に支援することの有効性は、精神医療界の世界的なトレンドになっています。そこで、「若者のこころの病」を2回にわたって見つめます。 第2回では、第1回に続き、岡田彩さんと中心に、孤立しがちな若者たちが“つながる”ことの大切さとその意味について語り合います。彩さんが参加する“ありのままクラブ”には同様の障害を持つ若者たちが集います。“ありのままクラブ”に通う二人の“うつ病”男性がスタジオで本音トークを繰り広げます。(NHKHP参照) ソニン/石田衣良	29	A-3
DVD	DA2011-004	ETV特集 思い出の街が 甦(よみがえ)る ～写真家・ 井上孝治の世界～	昭和30年頃の街と人々の暮らしを撮った井上孝治さん(大正8年～平成5年)。生涯、カメラ店を経営する傍ら写真を撮り続けたアマチュアカメラマンで、18年前に74歳で亡くなるまでに3万枚の写真を残しました。 井上さんは、幼いときの事故が原因で耳が不自由でした。話すことはできませんでしたが、人なつこい性格で、特に子どもたちと仲良くなり写真を撮っていたといいます。音のない世界で、時代と風景を見つめ続けていました。その写真には、めまぐるしく移り変わる時の中で、わたしたちが置き忘れてきたものが写し出されています。	59	A-3
DVD	DA2011-005	きらっといきる マンガで伝えたい ろうの世界 ～聴覚障害・松谷琢也さん～	奈良県に住む松谷琢也さんは生まれたときから耳が聞こえない。松谷さんは日々の生活の中で感じているろう者と聞こえる人との文化の違いをマンガでユーモアたっぷりに描く。松谷さんの伝えたいろう者の世界とは・・・。	29	B-3
DVD	DA2011-006	きらっといきる いつも手と手をつないで ～全盲ろう 山口隆雄さん・幸子 さん夫婦～	目が見えず耳も聞こえない全盲ろうの山口孝雄さんと妻の幸子さん。会話は互いに手と手を取り合って行う触手話という方法で行っている。手と手で絆を深め、毎日をいきいきと過ごす夫婦の姿を紹介する。	29	B-3
DVD	DA2011-008	福祉ネットワーク この人と福祉 を語ろう わたしと難聴と京都の関係 エッセイスト 麻生圭子さん	1980年代、作詞家として数々のヒット曲を生み出した麻生圭子さん。しかし難聴になり、作詞家を引退。その後エッセイストとして活躍し、今は京都に夫と暮らしている。今も難聴は進行しているが、その分見るものが以前より美しく感じられるという。難聴と向き合いながら日々を暮らす麻生さんに、その生き方を伺う。	29	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2011-009	福祉ネットワーク シリーズ 支援が必要な子どもたちへの教育 第1回“インクルーシブ”な教育	2006年に国連で採択された障害者権利条約。この条約の批准に向けて、国内でさまざまな取り組みが始まっている。インクルーシブな教育とは、障害者が自分が住む地域で、健常者と共に教育を受けること。長野県中野市の取り組みを紹介しながら、障害を持つ子供たちへの教育について考える。	29	B-3
DVD	DA2011-010	福祉ネットワーク “盲ろう者” 生きる意欲につながる支援	2009年、東京に全国初の盲ろう者支援センターが開設した。全国に2万人といわれる盲ろう者に対して触手話などのコミュニケーション訓練をはじめ、調理などの生活訓練も行い、盲ろう者の自立や社会参加を広げることがと期待されている。孤立して暮らす盲ろう者の実態を調査し、適切な支援につなげていく試みを進めるセンターの活動を紹介する。	29	B-3
DVD	DA2011-012・ 013	ろうを生きる難聴を生きる サーキットに夢を託して ～4時間耐久レースに挑む聞こえないライダーたち～ ろうを生きる難聴を生きる デフアートに希望を託して	全国のライダーたちにとってあこがれの舞台とも言える鈴鹿サーキットで、聴覚障害者で組織されたチームが注目を集めている。 メンバーは西尾政紀さんを中心とする近畿一円に住む約10人。彼らをひきつけるのは「風を切る快感」。当初は聴覚障害者の出場は危険と参加を渋る主催者と粘り強く交渉し、ようやく挑戦が実現した。 乗富秀人さんは手話をモチーフに手を描き続ける画家。ろう学校専攻科でデザインを学んだ後フランスの美術専門学校で油絵を学んだ。帰国後は風景画家として絵を描き続け受賞歴も多い。そんな乗富さんが5年ほど前に風景画をぴたりと止め、みずから「デフアート」と位置づけて「手」を描き続けるようになる。作品を通して、そこに込められたメッセージを紹介していく。	15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2011-014・ 015・016	ろうを生きる難聴を生きる 第2言語・日本手話 ～関西学院大学の挑戦～ ろうを生きる難聴を生きる 新宿居酒屋店主 ～ど根性10年の歩み～ ろうを生きる難聴を生きる 人工内耳・心のケア 「遊びクラブ」が目指すもの	<p>関西学院大学人間福祉学部では去年から「日本手話」を第2外国語科目とした。全国初のこの試みがほかの大学にも波及すれば、言語としての手話の認知、ひいては社会での手話のさらなる普及にむけて追い風になると期待されている。大学の試みを紹介する。</p> <p>東京新宿で10年前にろうの男性が開いた居酒屋が今も満員盛況の毎日が続く。店主は吉岡富佐男さん。10年続いた最大の理由は、聞こえない人だけでなく聞こえる人も大勢店に通い続けたことである。接客術、料理へのこだわり、店の雰囲気作り…「10年」の秘密に迫る。</p> <p>人工内耳は音の情報を電気信号に変え直接脳の聴神経を司る部分に送ることで聞こえを得る治療法である。しかし、期待された効果がなかなか出ないケースもあるなど治療結果には個人差が大きいことも浮き彫りになってきた。こうした中で重要性が指摘されているのがメンタル面のサポート、それも同じ悩みを知る人同士の自助活動が大きな力になる。人工内耳治療のメンタルサポートの重要性について考える。</p>	15 15 15	B-3
DVD	DA2011-017・ 018	ろうを生きる難聴を生きる 情報保障の可能性を広げよう ～字幕付与シンポジウム2009から～ ろうを生きる難聴を生きる 今 医療手話を考える	<p>京都大学学術情報メディアセンターが主催して開催された「聴覚障害者のための字幕付与技術」シンポジウム2009。 注目を集めた技術のひとつが、携帯ゲーム機や携帯電話に字幕を提供する技術。また、会場では、学術情報メディアセンターの河原達也教授たちが開発している自動音声認識システムJuliusを使ってリアルタイムで字幕を制作する実演も行われた。このふたつの技術を中心に、字幕付与技術の最新情報を伝える。</p> <p>全日本ろうあ連盟は今月「医療の手話シリーズ・第3巻 保健指導編」を出版した。連盟ではこれまで医療関係者も交えた制作委員会を作り病気や治療法に関係した手話表現の制作に当たってきたが、これでそうした手話がほぼ完成したことになる。 医療関係者、聞こえない人は「医療手話」とどう向き合ったらよいか考える。 海藤俊行／石橋大吾／長谷川芳弘</p>	15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2011-019・020	ろうを生きる難聴を生きる 今 震災体験を語る ～永江 眞樹さん～ ろうを生きる難聴を生きる 意外に多い！？ ろう者と聴者 日本語のズレ	神戸市に住む永江眞樹さんは15年前の阪神大震災を経験、その体験記をこのほど出版した。「阪神大震災・聴覚障害を持つ主婦の体験」は永江さんが一家四人で体験した震災と避難生活をつづったものである。被災時に聴覚障害者がどんな体験に直面したか、改めて検証する。 「手話と音声言語」というコミュニケーション手段の違いから意志疎通に困難を生じる健聴者と聴覚障害者だが、微妙なニュアンスの違いからも、さまざまなトラブル、誤解が発生する。そうした用例を集めた本、「ろう者のトリセツ聴者のトリセツ～ろう者と聴者の言葉のズレ～」が出版された。数々の日本語の解釈のズレを実例に、互いをよく理解するためにどうしたら良いのか考える。	15 15	B-3
DVD	DA2011-021・022	ろうを生きる難聴を生きる ぼくと“おしゃべり”をしようよ イラストレーター 門秀彦さん ろうを生きる難聴を生きる 夢は七大陸最高峰制覇 ～大窪康之さん～	門秀彦さんはイラストレーターとして活躍するコーダ(聴覚障害の両親を持つ健聴の子ども)。手話を表す手をモチーフにした作品を描き続けてきた。門さんが今力を入れるのが絵の持つ「発信力」に聞こえない子どもたちにも気づいてもらい、描く楽しさを知ってもらうこと。描くことで周囲とかかわる自信をはぐくんでもらい成長してほしいと願う。 大窪康之さんは七大陸の最高峰制覇に挑戦中のろう者。大窪さんはこれまでアフリカ最高峰キリマンジャロ(5895メートル)、オーストラリア最高峰コジアスコ(2232メートル)、南極最高峰ビンソンマシフ(4897メートル)の登頂に成功しており、今回南米最高峰のアコンカグア(6960メートル)の登頂に成功した。アコンカグアで直面した困難、そしてチョモランマへの思いを聞く。	15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2011-025-026	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえる人とのかけ橋に ろうを生きる難聴を生きる 必要なサービスを ～障がい者制度改革推進会議 ～	<p>2010年3月、新潟市で「しゅわる映画祭」が開かれた。聞こえない人も聞こえる人もともに同じ映画を楽しんでもらい、手話に関心を持ち手話を使う(しゅわる)人を増やすことを目的にした映画祭だ。映画祭を企画したのは、手話の普及をめざして活動する団体・手話レクチャー「ハンズ」。代表の小池卓さんが映画祭の運営委員長を務める。「聞こえない人と聞こえる人のかけ橋になりたい」と願う小池さんに、その思いを伺う。 小池卓／佐藤紘一</p> <p>総理大臣を本部長として設置された「障がい者制度改革推進本部」の下部組織、「障がい者制度改革推進会議」が、2010年1月からスタートした。障害のある当事者や有識者が参加して、障害者基本法の改正や、あらたな総合福祉法(仮称)の制定などに向けて議論を進めている。会議の構成員の1人、全難聴常務理事の新谷友良さんに、障がい者制度改革推進会議における議論について解説していただく。新谷友良</p>	15 15	B-3
DVD	DA2011-027-028・029	ろうを生きる難聴を生きる “盲ろう者”生きる意欲につながる支援 ろうを生きる難聴を生きる 電話リレーサービスを 普及のために ろうを生きる難聴を生きる 発達障害をあわせ持つ子への支援	<p>2009年5月、盲ろう者の自立や社会参加の支援を目的に、東京都盲ろう者支援センターが開設された。東京都の補助を受けてNPO法人東京盲ろう者友の会が運営するもので、全国初めての取り組みだ。センターでは、料理、スピーチ、ウオーキングなどを通して、家に閉じこもりがちな人たちの社会参加を促進する事業を実施している。開設1年の東京都盲ろう者支援センターの取り組みを通して、盲ろう者を支援するサービスのありかたを考える。川崎美知夫／前田晃秀</p> <p>電話リレーサービスは、聞こえない人と聞こえる人がリアルタイムで会話することを可能にするサービス。聞こえない人は、パソコン上で文字を打ったり、テレビ電話で手話で話す。それを見たオペレーターが、聞こえる人に電話をして内容を音声で伝える。逆に聞こえる人の音声は、オペレーターが文字や手話で伝える。電話リレーサービスの便利さを紹介しながら、普及させるための道筋を考える。小川光彦</p> <p>ろう学校に通う子どもの「発達障害」が注目されはじめた。補聴器が進歩したり手話が積極的に活用されても、「ことばの学習に困難がある」「集中が続かない」「人の気持ちを推測できない」といった特性を持つ子どもたちがいることが、わかってきたのだ。</p> <p>そんな中、東京学芸大学准教授の濱田豊彦さんが実施する「学習支援ダンボ」の取り組みが注目されている。発達障害をあわせ持つ子どもの教育支援の研究と実践についてレポートする。濱田豊彦</p>	15 15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2011-030-031	ろうを生きる難聴を生きる 情報・コミュニケーションを保障する制度改革を ろうを生きる難聴を生きる 日本ろう者集団 30年の軌跡	障害者にかかわる制度の抜本的な改革をめざして議論が続く、内閣府の障がい者制度改革推進会議。重要なテーマのひとつが「情報・コミュニケーション保障」だ。日本が批准をめざす障害者権利条約をふまえた新しい法制度を、障害者自身が提案、実現しようとしている。情報・コミュニケーション保障を実現する制度改革についての、全日本ろうあ連盟の考え方を聞く。小中栄一 ろう者演劇をけん引し続けてきた「日本ろう者劇団」は、今年、誕生して30周年を迎えた。1980年4月、演劇の好きなろう者が集まり「東京ろう演劇サークル」を設立。その後、トット基金の付帯劇団となり、日本ろう者劇団と改称し、発展してきた。日本ろう者劇団は、どのような足跡を残してきたのか、これから何を始めようとしているのか、過去の公演の映像を交えながら、劇団の米内山明宏さんと井崎哲也さんに聞く。米内山明宏／井崎哲也	15 15	B-3
DVD	DA2011-041	カンブリア宮殿 障害者に働く喜びを 日本理化学工業 会長 大山泰弘	不況にあえぐ中小企業にあって、社員の幸せを考え続けている会社がある。神奈川県川崎市にある「日本理化学工業」だ。この会社の従業員は74人のうち54人が知的障害者だ。しかも重度の人が半数以上を占めている。障害者の雇用を積極的に進める企業の中でも、草分け的な会社だ。日本理化学工業の50年の歩みと障害者雇用の現実と問題点をあぶりだしていく。 【群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザ】 村上龍／小池栄子	44	B-3
DVD	DA2011-042	目撃者f 絵里せんせいとスーパーダンス キッズ	最近、子どもたちの間でもヒップホップやストリート系ダンスが大人気で、キッズダンスの全国大会開催など、キッズダンス界はこれまでにない盛り上がりを見せている。 福岡市南区にも全国で注目を集めるダンスチームがある。小学生ダンサー日本一を決める大会で前年全国3位。今回は優勝を目指すチーム「絵里ダンス」だ。子どもたちを指導するのは、西畑絵里さん。西畑さんは生まれながらにして重度の難聴という障害をもちながら、高校、大学時代に何度も日本一に輝いた実績がある。その努力は並大抵のものではない。 「ダンスの前にまず礼儀」という西畑さんの指導はとてつもない。「できるかできないかでなく、やるかやらないかよ！」と詰ったする西畑さんに子どもたちは泣きながら必死の思いで付いていく。 さて、今大会の結果は…。【字幕制作：福岡県聴覚障害者センター】 西畑絵里	26	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2012-001	ハートをつなごう きょうだい ～障害のある人の兄弟姉妹～ (1)抱えてきた「生きづらさ」	「子ども時代に親に甘えられなかった」「大人になっても、自分のために人生を生きられない」 … 障害のある人や、難病などで長期闘病している人の兄弟姉妹は、「きょうだい」あるいは「きょうだい児」と呼ばれ、成長の過程で悩みや葛藤を抱く人が多いといわれています。しかし、家族支援の必要性が指摘されるようになっても、「きょうだい」は、なかなか支援の対象として捉えられてきませんでした。 「自分が悩んでいることで、親を悲しませたくない」、「周囲の人に話せば、自分が悪い人間だと思われるのではないか」…一人で苦しんでいる若者が、数多くいるのではないかといわれています。 (1)では、「きょうだい」がどんなことに苦しんできたのかを当事者のみなさんとともに考えていきます。(NHKHP参照) 石田 衣良／ソニン／桜井洋子	29	A-3
DVD	DA2012-002	ハートをつなごう きょうだい ～障害のある人の兄弟姉妹～ (2)「自分を生きる」ために	「子ども時代に親に甘えられなかった」「大人になっても、自分のために人生を生きられない」 … 障害のある人や、難病などで長期闘病している人の兄弟姉妹は、「きょうだい」あるいは「きょうだい児」と呼ばれ、成長の過程で悩みや葛藤を抱く人が多いといわれています。しかし、家族支援の必要性が指摘されるようになっても、「きょうだい」は、なかなか支援の対象として捉えられてきませんでした。 「自分が悩んでいることで、親を悲しませたくない」、「周囲の人に話せば、自分が悪い人間だと思われるのではないか」…一人で苦しんでいる若者が、数多くいるのではないかといわれています。 (2)では、「きょうだい」が、成長の過程で抱えるさまざまな課題を、どうやって乗り越えていけばいいのかを当事者のみなさんとともに考えていきます。(NHKHP参照) 石田 衣良／ソニン／桜井洋子	29	A-3
DVD	DA2012-003	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(1) 私の家族	「NHK障害福祉賞」は、障害者自身の体験や、障害児・者の教育や福祉の分野での実践記録などに贈られる賞。 この「NHK障害福祉賞」最優秀賞を受賞した徳澤麻希さん。夫の勝也さんが交通事故で車いすの生活になり、麻希さんは、勝也さんの介助とふたりの子どもの子育てに奮闘。夫の勝也さんは障害を抱えながら、子育てにどう関わったらいいのか悩んできた。困難に遭いながらも前向きに生きようとする一家の姿を紹介しながら、作品にこめられた思いを伺う。	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2012-005	福祉ネットワーク 東日本大震災 障害者の1か月 集団避難した人たち	福島県いわき市で、さまざまな支援を受けて自立した生活を送っていた障害者74人が、東日本大震災の影響で長野県へと集団避難をした。今後どのように生活を再建していくのか、ふるさとへの強い思いの中で揺れる障害者の姿を見つめる。	29	B-3
DVD	DA2012-006	福祉ネットワーク 孤立を防げ ～石巻 聴覚障害者はいま～	東日本大震災で被災したろう者の中には、情報が入らず、また支援が受けられずに孤立する方々がいる。彼らの支えとなるのが、設置手話通訳だ。宮城県石巻市で活動する設置手話通訳の姿を通して、被災した聴覚障害者の支援について考える。	29	B-3
DVD	DA2012-007	福祉ネットワーク 東日本大震災 “盲ろう者”にならにおきたか	多くの人に甚大な被害をもたらした東日本大震災。中でも視覚と聴覚の両方に障害を持つ「盲ろう者」は、震災直後の停電や情報網の混乱の中、情報を得る一切の手段を失った。さらに震災は、日ごろ盲ろう者を支えていた支援者の命も奪った。東日本大震災で盲ろう者はどんな事態に直面したのか、そしてどんな支援が必要なのか考える。	29	B-3
DVD	DA2012-008・ 009・010	ろうを生きる難聴を生きる 人工内耳.270人の親の声 ～全国早期支援協議会アンケートから～ ろうを生きる難聴を生きる 検証・韓国手話 ～似ている？似ていない？ その実像に迫る～ ろうを生きる難聴を生きる 自分自身への挑戦 ～ライダー高杉奈緒子 日本最高峰のレースに挑む～	内耳に電極を入れることで、聴力の回復をはかる人工内耳。1994年に保険が適用となってからは手術を受ける人が増え、また手術時の平均年齢は2009年には3歳代となった。多くのケースでは、手術を行うか否かの判断は親が判断している現状だ。番組では、聴覚障害児を持つ親を対象に行われたアンケートから、人工内耳に対する親の気持ちを紹介。また人工内耳を装着しながらも、手話の世界に生きがいを見いだした聴覚障害者の姿も紹介する。 日本でも学ぶ人が増えている韓国手話。北星学園大学の佐々木大介さんは、言語学の立場から両者を比較研究している。かつて日本が韓国を植民地化していた歴史的背景もあり、韓国手話と日本手話は非常に似ていると言われるが、最近ではその状態に変化が起きているという。韓国手を取り巻く現状を見ていく。 高杉奈緒子さんは難聴者。23歳の時からライダーとして走り続けている。日本最高峰のオートバイレース「全日本ロードレース選手権」にも参戦中だ。「自分自身の限界に挑戦したい」という高杉さんのレースにかける思いを追った。	15 15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2012-011・012	ろうを生きる難聴を生きる ろう教授奮闘記 ～松崎丈さん～ ろうを生きる難聴を生きる 聞こえない学生への支援 ～生き生きと学ぶために～	宮城教育大学准教授の松崎丈さんはろう者。ろう学校の教員を目指す学生たちを指導している。小学校から高校まで普通校で過ごした松崎さんは大学で手話と出会い、現在は手話を使って講義を行う。手話通訳はつけず、学生たちは手話を学びながら松崎さんとコミュニケーションしている。ろう教育を担う学生に期待する思いを、松?さんに語っていただく。 現在、大学に進学している聴覚障害学生は1500人ほどおり、その数が増える中、大学での情報保障の整備が急がれている。番組では「日本聴覚障害学生高等教育シンポジウム」の様子を紹介しながら、一部の大学で行われている先駆的な試みを見ていく。お話は筑波技術大学障害者高等教育研究支援センターの白澤麻弓さん。	15 15	B-3
DVD	DA2012-013・014	ろうを生きる難聴を生きる ぬくもりを伝えたい ～会津塗り職人・星清一さん～ ろうを生きる難聴を生きる “コーダ”を見つめて ～澁谷智子さん～	星清一さんはろうの会津塗り職人、父のあとをついでろう学校卒業後この世界に入って約30年となる。星さんの心の支えは「師匠」でもある父、そして作業を共にするようになった同じ聞こえない妻の存在。一家で伝統工芸を守る姿を紹介する。 コーダは聞こえない両親を持つ聞こえる子どもたちのこと。コーダは「ろう文化」と「聴文化」の価値観の違う2つの世界を知る。コーダの子育てや親子関係に注目し研究している澁谷智子さんは、コーダ理解のための活動を続けている。澁谷さんにお話を伺う。	15 15	B-3
DVD	DA2012-015・016	ろうを生きる難聴を生きる ろう者の思いを伝えたい ～映画ドキュメンタリー作家今村彩子さん～ ろうを生きる難聴を生きる つかめ！聞こえない人々のニーズ～しゅわ旅ツアー～	今村彩子さんはろうの映像ドキュメンタリー作家。「ユニバーシティライフ～ろう・難聴学生の素顔～」が文部科学省選定作品となるなどいくつかの受賞体験もした。また「伝えたい」が日本民放連盟賞CM部門で優秀賞を受賞した。この作品は静岡県内のサーフ店長(ろう者)が、店を訪れる健聴者と筆談でコミュニケーションする姿を通して「伝える方法はいろいろある。大切なのは伝えたいという気持ち」というメッセージを送るものである。今村さんの思いを伺う。 片桐幸一さんは旅行代理店で働くろう者。ほかのスタッフとともに聴覚障害者の他、さまざまな障害のある人を対象にした旅行を企画している。当事者たちはどのようなサービスを求めているのか片桐さんの体験を通して考える。	15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2012-017-018	ろうを生きる難聴を生きる 島の手作りネットワーク ～隠岐に暮らす聞こえる人とうろう者たち～ ろうを生きる難聴を生きる “盲ろう者”を知っていますか？	池田文隆さん、宮子さんは島根県隠岐の島に暮らす健聴者とうろうの夫婦。島に15人ほどいるろう者の大半は1人暮らしの高齢者である。島では公的な手話通訳派遣制度が事実上ほとんど機能していない。松江市に派遣を依頼すると1日1便だけのフェリーで片道3時間かけて通訳が来ることになる。日帰りは困難なため、依頼は島の手話サークル代表を務める文隆さんに舞い込む。池田さんの取り組みを紹介する。 渡井真奈さんは、夫が盲ろう者で、5年前から、小学校や幼稚園で、盲ろう者について知ってもらうための授業を企画・運営している。授業には、実際に盲ろう者を講師に招き、点字や手話についてのクイズ、子どもたちに実際に盲ろう者の手引きをしてもらう。「盲ろう者についてもっと知って欲しい」と活動する真奈さんの思いを紹介する。	15 15	B-3
DVD	DA2012-019-020-021	ろうを生きる難聴を生きる 島のろう者は今 ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報 (平成23年3月20日放送) ろうを生きる難聴を生きる この一年を振り返って ～ハイライトシーンをもう一度！～	島根県・隠岐は4つの島からなり、約2万人の人々が暮らす。ここには手話で生活する人が10人ほどいる。離島では手話通訳の派遣が難しい場合も多い。島のろう者たちの暮らしを追った。 東日本大震災から9日目の放送。岩手・宮城・福島各被災地の様子、聴覚障害者の状況を、各地のろうあ協会・難聴者協会や手話通訳者から報告してもらう。また被災地の聴覚障害者から番組に寄せられたメールを紹介し、被災者の生の声を伝える。 1年間の放送を振り返り、さまざまな世界で活躍する4人の聴覚障害者の様子を、ハイライトシーンを交えて紹介する。登場するのは、女性ライダーの高杉奈緒子さん、大学准教授の松崎丈さん、会津塗りの職人の星清一さん、旅行会社で手話ツアーを企画する片桐幸一さんだ。	15 15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2012-022・023・024・025	ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報 (平成23年4月3日放送) ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報 (平成23年4月10日放送) ろうを生きる難聴を生きる あきらめない人生 前編 ～藤田孝子さん～ ろうを生きる難聴を生きる あきらめない人生 後編 ～藤田孝子さん～	東日本大震災関連情報。震災から3週間目の様子を伝える。聴覚障害者救援中央本部の取り組みについてと、岩手県ろうあ協会会長高橋幸子さんの報告。番組後半では、兵庫県立聴覚障害者情報センターの相談員・甲斐更紗さんを迎え、災害時の心理支援について伺う。 東日本大震災から1か月目の様子を伝える。全難聴対策本部の高岡正さんから、難聴者の被災状況・必要な支援について伺う。後半は精神保健福祉士の高山享太さんを迎え、被災した子どもたちをどう受け止め支援していくのかを伺う。 1964年に制作されたNHKのドキュメンタリー「歳月」は、藤田威さん・孝子さんの聞こえない夫婦が、たくましく生きる姿を描いた作品だ。ろう者への差別がまだ厳しかった時代。さまざまな苦勞に負けず前向きに生きた孝子さんの「あきらめない人生」を伺う。 藤田孝子さんにお話を伺う後編。夫の威さんは島根県のろうあ連盟の中心的存在として活躍した。夫の生前からろうあ運動にかかわった孝子さんだが、当時は女性が前面に出るのは珍しいことだった。夫の死後、島根県のろうあ連盟の会長も務めた孝子さんに、女性ならではの取り組みについて伺う。	15 15 15 15	B-3
DVD	DA2012-026・027・028・029	ろうを生きる難聴を生きる 人形劇と自分探しの旅 ～前編～ ろうを生きる難聴を生きる 人形劇と自分探しの旅 ～後編～ ろうを生きる難聴を生きる どんぐり ろう重複障害とともに ～知的障害のある仲間のために～ ろうを生きる難聴を生きる どんぐり ろう重複障害とともに ～さまざまな“生きづらさ”を支えて～	「デフ・パペットシアター・ひとみ」は、聞こえない人と聞こえる人が力を合わせて上演する人形劇団。結成30周年記念作品の公演に初挑戦する牧野英玄さんの姿を追う。 「デフ・パペットシアター・ひとみ」の牧野さんはろう学校ではなく一般校で学び、聞こえる世界と聞こえない世界のはざままで揺れ動いていた。人形劇を通して、自分探しの旅を続ける牧野さん。初めての公演を通して、「自分とは何者なのか」が少しつかめたという。 入所授産施設「ふれあいの里・どんぐり」には60人のメンバーが暮らす。その半数以上が、知的障害のある人たちだ。メンバーは共同生活をする中で、使える手話単語の数を増やしたり、買い物をする力を付けたりして、少しずつ成長している。全国的にも先進的と言われる取り組みを伝える。 設立当初の「どんぐりの家」のころとは異なり、今、「ふれあいの里・どんぐり」では、精神障害、ひきこもり、盲ろうなど、さまざまな「生きづらさ」のある人の暮らしを支えている。「ふれあいの里・どんぐり」の取り組みを伝える。	15 15 15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2012-030-031・032	ろうを生きる難聴を生きる 制度改革1 必要とする人にサービスを ろうを生きる難聴を生きる 制度改革2 どこでもいつでもコミュニケーション支援を ろうを生きる難聴を生きる 大好きな犬と仲間と ～びわこみみの里の就労支援～	日本では、軽中度難聴の人は障害認定されず、福祉サービスなどを受けることができない。しかし、日常生活で困っていることは、たくさんある。サービスを必要とする人が、サービスを受けられるようにするための道筋を考える。 現在、手話通訳派遣事業、要約筆記派遣事業、手話通訳設置事業を実施していない市町村があり、内容も地域格差があることが指摘されている。最新の調査結果をもとに、どこでもいつでもコミュニケーション支援が受けられるようにするための道筋を考える。 滋賀県守山市にある「びわこみみの里」は、一般企業への就労が難しい聴覚障害者などが、就労訓練を受けたり働いたりする施設。中でもユニークなのは犬の美容師であるトリマーの養成。トリマーを目指す人たちを中心に、みみの里を紹介する。	15 15 15	B-3
DVD	DA2012-036-037	ろうを生きる難聴を生きる 東日本大震災 盲ろう者は ろうを生きる難聴を生きる 東日本大震災 放射能の不安	岩手県大槌町に住む八幡美知子さん(60歳)は、息子夫婦と孫と6人で暮らしている。震災で家は無事だったが、14年前から八幡さんを支えてくれた通訳・介助者が、津波で行方不明になってしまった。大槌町には、ほかに通訳・介助者はいない。震災の中での盲ろう者の生活の現状を伝える。 ろう者は、放射能や放射能の影響を減らすための注意点について、手話を通して情報を得る機会が少ない。そこで、東日本大震災聴覚障害者救援福島県本部では、手話通訳を付けた専門家の講演会を開いた。放射能汚染と向き合うろう者と、それを支援する動きを伝える。	15 15	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2012-038・039	ろうを生きる難聴を生きる 災害時の緊急情報をどう伝えるか ろうを生きる難聴を生きる 災害と聴覚障害者情報提供施設	東日本大震災では、聴覚障害者の防災や被災者支援において、さまざまな課題が浮き彫りになった。特に情報配信は重要な課題である。災害発生時に確実に情報が届くようにするには、どんなシステムを用意しておく必要があるのか考える。 東日本大震災で、情報提供施設は地元の聴覚障害者団体と協力し、安否確認や被災者支援活動を行った。災害時に重要な役割を担う情報提供施設のない地域では、一日も早い施設設置を望む声が高くなっている。災害時の情報提供施設の役割について伝える。	15 15	B-3
DVD	DA2012-040	東海北陸ヒューマンドキュメンタリー 聴こえない僕が父になる	ろう者の森本拓磨さんは学生時代にひとめぼれした女性と結婚した。そして同時に5歳の翔太郎君の父親になった。耳の聞こえない森本さんが言葉の壁や血のつながりを超え、翔太郎君の父親になろうとする姿を追う。	29	B-3
DVD	DA2012-041	なんくるないさあ 耳の日特番 ～今井絵里子が息子と歩んだ6年～	かつてSPEEDのメンバーとして、国民的人気を得た歌手・今井絵理子さん。彼女の一人息子、礼夢くんは耳が聞こえない。「聞こえないことは息子の個性」と言い切る絵理子さんは、礼夢くんを連れて全国のろう学校や施設を回り、コンサートを行っている。自ら手話を学び、息子とコミュニケーションし、そして歌い続ける絵理子さんの姿を追った。	45	B-3
DVD	DA2012-042	11ドキュメント静岡 伝えたい思い ～言葉を越えたコミュニケーション～	映像作家の今村彩子さんはサーフショップを営んでいる太田辰郎さんを1年以上取材し、ドキュメンタリー映画を制作している。今村さんも太田さんも耳の聞こえないろう者である。音のない世界に生きる今村さんの「伝えたい思い」を紹介する。	48	B-3
DVD	DA2012-043	NNNDキュメント'11 3・11大震災シリーズ16 手話で伝えた被災地 ～心の壁を越えて～	今村彩子さんはろう者の映像作家。東日本大震災の直後から現地入りし、被災したろう者たちの姿を撮り続けてきた。以前は手話のできない聴者とのコミュニケーションにあまり積極的ではなかったという今村さん。しかしあるろう者との出会いで、自分の心の壁に気づく。被災したろう者の復興も、それぞれが心の壁を超えたとき、何かが見えてくるはず。それを信じて、ひたむきに作品づくりに向き合う今村さんの姿を追う。	25	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2012-044	JNN九州沖縄ドキュメント ムーブ 手話で生きたい	乗富秀人さんは熊本に住む画家。描くのは、デフアートと呼ばれる「音のない世界の人たちの想いを表現する」絵画だ。口話教育で厳しく育てられた乗富さんは就職してからも、聴者ばかりの社会で孤独感を強めていた。転機となったのは26歳の時に絵の勉強のために向かったパリ。ろう教育発祥の地フランスで、ろうであることに誇りを持って生きる芸術家たちと出会う。今、乗富さんはろう者の誇りを持って、「手話で生きたい」と強く思っている。	25	B-3
DVD	DA2012-045	架け橋 第1弾～東日本大震災 宮城の被災ろう者は今～ 第2弾～一ヶ月後の被災ろう者～ 第3弾～地域の絆～	甚大な被害をもたらした東日本大震災。その時、聞こえない仲間たちは、建物の倒壊した町で、避難所で、何を思いどう過ごしていたのか。ろう者である今村彩子監督が見た被災地とは、そして聞こえない仲間たちとは…。渾身のドキュメンタリー作品。	75	A-3
DVD	DA2012-046	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう デザインで描く生きる希望 ～建築家 伊東豊雄さん～	各界の著名人に、その人なりの福祉論を語ってもらう「この人と福祉を語ろう」。今回のゲストは、世界的な建築家の伊東豊雄さん(70歳)。東日本大震災によって暮らしや地域社会が奪われた被災者たち。伊東さんは震災直後から被災地に入り、「建築の力」でコミュニティーの復興再生を支援するために力を注いできた。多くの喪失を経験した被災者の心と生活の復興再生を、どうデザインの力で支援しようとしているのか、話を伺う。(NHKHHPより)	29	A-3
DVD	DA2013-001	アスリートの魂 私はもっと速くなる 車いすマラソン 土田和歌子	パラリンピック車いすマラソン日本代表、土田和歌子選手。17歳で足の自由を失った後、幾多の苦難においても常に前を向いて走り続け、夏と冬のパラリンピック両方で金メダルを獲得。まだ手にしていないのが、車いすマラソンでの金メダルだ。レース中の事故で大けがを負った北京大会から4年、37歳の肉体は衰えを隠せないが、「最後のチャンス」と臨むロンドンに向けた激闘の日々に密着した。	44	A-3
DVD	DA2013-002	ハートネットTV NHKハート展 叱られたとき	障害がある人が作った詩に著名人が絵をつけるアートのコラボレーション「NHKハート展」。今回は入選者の中から、茨城県に住む遠藤真宏さん(19歳)の作品をとりあげる。真宏さんは知的障害と自閉症がある。小さい時は、自分の感情をコントロールできず、ほとんど人と関わることもできなかった。母親の礼子さんは、幼少から2つのことを心がけて、真宏さんに向き合ってきたという。2つのこととは…?(NHKHHP参照)	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2013-048	ハートネットTV みつえとゆういち —親子で紡ぐ“認知症”漫画—	日本の認知症高齢者は300万人を超え、今多くの人たちがさまざまな困難に直面しながら家族の介護に格闘している。認知症とどう向き合えばよいのだろうか。記憶を失いながら生きるとはどういうことなのだろうか。番組では、自身も認知症の介護の経験がある作家の田口ランディさんとともに、岡野さんの漫画が問いかけるメッセージをひもときながら、認知症介護のあり方を見つめ直す。(NHKHP参照)	29	A-3
DVD	DA2016-001	ハートネットTV シリーズ 変わる障害者支援 (1) 私のことは私が決める	障害者権利条約の中で注目される理念の1つが自分のことを自分で決める社会の実現である。しかし知的障害者の多くは判断力が不十分であるとして子どものころから親や周囲に決められた人生を歩む人が多い。 誰もが自分で自分のことを決められるための支援について考える。	29	A-3
DVD	DA2016-002	ハートネットTV 変わる障害者支援(2) あなたの決断を支えたい	障害者権利条約が採択され、各国が条約の理念の実現に向け取り組んできている中、日本も自分自身で決められる社会を目指すための障害者支援を模索している。 障害者の自己決定を支援する活動例を見ながら支援のあり方を考える。	29	A-3
DVD	DA2016-035	目撃！日本列島 心をつなぐ“千本ノック”～盲目の夫婦の日々～	目の不自由な人たちの野球・グランドソフトボール。選手たちはボールの転がる音を頼りにプレーする。全盲の脇坂清さん(66歳)は、同じく全盲の妻・美津江さんとともに、週1回のノックの練習を26年間続けてきた。盲目の二人がノックに懸ける思いとは何か。	23	A-3
DVD	DA2016-036	ハートネットTV エンジンの鍵みつけた ～発達障害とのはざまで～	全国から不登校の小中学生が集まる全寮制の学校に、幼いころ発達障害の疑いが強いと診断された少年が入学してきた。彼は同じ境遇の仲間に関心を閉ざしていた。しかし、あることがきっかけで彼は仲間に関心を開いていく。 彼の成長の記録と彼を見守る先生と仲間の2年半に及ぶ記録。	29	A-3
DVD	DA2016-037	ハートネットTV 私らしい“自立” ～NHK障害福祉賞50年～	NHK障害福祉賞は、50年前に始まった障害のある人や支援者の体験を集めた記録である。この記録は半世紀にわたる日本の福祉の歴史でもある。その中の1つである、27年前に障害福祉賞に入選した脳性まひの女性が、自立とは何かを考え続けた年月を振り返る。	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2017-042	ハートネットTV 笑顔のそばに卓球があった ～ろう者卓球日本一 伊藤優希17歳～	広島県立広島南特別支援学校に通う3年生、伊藤優希君は卓球の日本代表に選ばれた。伊藤君は2015年1月に行われた「全日本・全国ろうあ者卓球選手権大会」で史上初の男子シングルス2連覇を達成している。伊藤君が卓球を始めたのは、小学校5年生の時だ。【出演者】伊藤優希	29	B-3
DVD	DA2017-043	ハートネットTV 静かでうるさい居酒屋	東京の大久保にある居酒屋「ふさお」はいつもお客さんでいっぱいの人気店。店主自慢の串揚げを片手に盛り上がるお客さんたちだが、よく見ると普通の店と様子が違う。店で飛び交うのは「手話」だ。ろう者の夫婦が営むこの店では手話が「公用語」。ここには憩いを求めてやってくるろう者も、そして手話の魅力にひかれて来る聞こえる人もいる。【出演者】吉岡富佐男／吉岡かつ江	29	B-3
DVD	DA2018-001	ハートネットTV シリーズ 相模原障害者施設殺傷事件 言葉はなくとも 重度知的障害のある人たち	相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」で、19人が殺害され27人が負傷した事件が起きた。容疑者は取り調べの中で「意思疎通ができない人たちを刺した」と語った。ネット上でも「知的障害者は怖い」「何を考えているか分からない」などの声が上がった。知的障害者の思いを知ろうと模索する人たちの活動を追う。	29	A-3
DVD	DA2018-002	ハートネットTV シリーズ 罪を犯した発達障害者の再出発 第1回 少年院の現場から	罪を犯した少年たちに立ち直るための教育を行う少年院。罪を犯した少年の中には発達障害や、その疑いがある人もいることが分かった。しかし発達障害は外見では判断しづらく一般の少年と同じ教育が行われてきた。そこで国は発達障害のある少年に対する指導方針を打ち出し配慮ある指導を促した。その成果と課題について考える。	29	A-3
DVD	DA2018-003	ハートネットTV シリーズ 罪を犯した発達障害者の再出発 第2回 出所、そして社会へ	障害への支援や配慮が受けられないため罪を犯してしまう人たちがいる。地域生活定着支援センターは、こうした人たちの再犯を防ぐために活動している。中でも先進的な取り組みをしている長崎県の地域生活定着支援センターの取り組みを紹介する。	29	A-3
DVD	DA2018-037	ETV特集 亜由未が教えてくれたこと	NHK青森のディレクター坂川裕野さんの妹・亜由未さんは脳性マヒと知的障害を持つ重度障害者だ。相模原市で起きた障害者殺傷事件をきっかけに、「障害者の家族は不幸ではない」ことを伝えるため、坂川さんは亜由未さんの暮らしを撮影することに。そして今まで両親に任せていた亜由未さんの介助を1か月間してみることに。両親の苦労、亜由未さんの双子の妹の思い…。重度障害者とともに暮らす家族の姿を描く。	60	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2018-038	ハートネットTV WEB連動企画 “チエノバ” これだけは知ってほしい！聴覚障害の悩み	聴覚障害者といっても、全く聞こえない人から補聴器で少し聞こえる人、生まれつき聞こえない人、途中で聞こえなくなった人などさまざま。しかし聴力に違いはあっても、日常生活で不便を感じることに共通点は多い。番組では視聴者から寄せられた意見を紹介しながら、聴覚障害者の抱える悩みについて、ろう者のゲストと共に考えていく。	29	A-3
DVD	DA2019-028	ETV特集 静かで、にぎやかな世界 ～手話で生きる子どもたち～	東京都品川区にある私立明晴学園は、聞こえない・聞こえにくい子どもたちが、手話で学ぶ学校。そこでは授業も休み時間の会話も子どもたちの大事な会議も、すべて手話が飛び交い実になにげやかだ。番組では、ろう者として手話とともにのびのびと生きる子どもたちの姿と、大学で「聴者の社会」に直面する卒業生の姿を追う。(明晴学園のみなさん)	59	A-3
DVD	DA2019-029	ハートネットTV シリーズ 認知症 当事者をつくる新時代 第1回 絶望から権利へ	2017年4月に京都で開かれた認知症についての世界最大の国際会議。この会議に大きな影響を与えてきたのが、認知症当事者のクリスティーンだ。彼女は当事者として、公の舞台上で自分の考えを語り、認知症への見方を変えてきたことで有名だ。そして今、日本でも当事者が声を上げ始めている。(クリスティーン・ブライデン)	29	A-3
DVD	DA2019-030	ハートネットTV シリーズ 認知症 当事者をつくる新時代 第2回 パートナーと見つけた希望	丹野智文さんは39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された。今、認知症への見方を変えようと、各地を飛び回る丹野さんの傍らには、活動を手伝うために常に同行する人がいる。家族でもない、介護者でもない「仲間(パートナー)」。希望を探して歩む丹野さんと仲間たちの記録。(丹野智文／若生栄子／山崎英樹)	29	A-3
DVD	DA2019-031	ハートネットTV シリーズ “ゲーム障害” LIVE相談 治療と対策	オンラインゲームなどに熱中し生活に支障をきたす症状を「ゲーム障害」という。WHO(世界保健機関)は新たな病気として国際疾病分類に加える見通しだ。当事者や家族の悩み、疑問、体験談を募集し生放送で相談に応える。治療の現場を紹介しながら、対策や予防について考える。(樋口進／遠藤美季／江上敬一／中野淳)	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2019-032	ハートネットTV シリーズ 平成がのこした“宿題”「災 害弱者」	平成の30年間では阪神・淡路大震災、東 日本大震災など数多くの災害が起きた が、避難や復興から取り残される高齢者 や障害者など「災害弱者」が顕在化した。 国は自治体に対して「災害時要援護者の 避難支援ガイドライン」を示したが縦割り 行政の中では思うように進まない。悲劇を 繰り返す社会の課題とその解決の端緒を 探る。(福永年久／東俊裕／中野淳)	29	A-3
DVD	DA2020-001	ハートネットTV NHKハート展 手話・ままのめ	障害のある人がつづった詩に、著名人が作品 を寄せるNHKハート展。知的障害を伴う自閉 症のある岩元優真さん(14)にとって、詩は周 囲の人に自分の言葉を伝えられる数少ない機 会。二人三脚で奮闘する母との日常を独特の 表現で描く。聴覚障害のある駿河富子さん(6 8)は、幼いころ言葉に傷つき、詩を書く中 で自らの人生を取り戻してきた。詩に込め られたそれぞれの人生を見つめる。 出演者白鳥久美子／中野淳	29	A-3
DVD	DA2020-002	ハートネットTV 亜由未が教えてくれたこと 201 9	障害者と暮らす家族の本音、共に生きる幸せ とは何か。3年前の相模原障害者殺傷事件を 機に、重度の障害者の妹・亜由未さんにカメ ラを向けるNHKディレクターの記録。この夏、2 年ぶりに亜由未さんと向き合う兄。妹の症状 や環境の変化、介助する親の老いなど、多く の問題を目の当たりにしながら、家族とは何 かを模索する。	29	A-3
DVD	DA2020-028	ハートネットTV 手話で楽しむみんなのテレビ！ ～おはなしのくに編～	ハートネットTVでは、今回「おはなしのくに」2 作に手話をつけて放送。渡辺直美さんふんず る「きんたろう」と熊の相撲対決は、手話で どう表現されるのか。壇蜜さん出演の「つる のおんがえし」で、鶴の鳴き声や機織りの音 はどう手話になるのか。聞こえない人も、聞 こえる人もみんなで見てほしい、NHK初の 手話エンターテインメント番組。 出演者渡辺直美／壇蜜／馬場博史／山岸侑 子／竹村祐樹	29	A-3
DVD	DA2020-029	ハートネットTV 手話で楽しむみんなのテレビ！ ～ドキュメント72時間編～	「いろいろな番組を手話で楽しみたい」とい う、ろう者・難聴者の声から、NHK初の手話 エンターテインメントに「ハートネットTV」が 挑戦。今回は、「ドキュメント72時間～海が見 える老人ホーム～」に手話をつけて放送。吹 石一恵さんのナレーションや、人々の人生が垣 間見える一言はどう表現されるのか？シンガ ーソングライター・松崎ナオさんが歌う72 時間テーマ曲「川べりの家」と、手話パフォー マーのコラボレーションも！ 出演者山口悟史／佐沢静枝／寺澤英弥／後 藤佑季	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2020-030	ハートネットTV 手話で楽しむみんなのテレビ！ ～昔話法廷編～	NHKの人気番組に手話がつく「手話で楽しむみんなのテレビ！」。今回は、Eテレで話題となったドラマ「昔話法廷」に手話をつけて放送。「さるかに合戦」をモチーフに、カニの親子を殺した猿が法廷で裁かれる。死刑を求めるカニの子ども、涙声で謝罪する猿のセリフを、ろう者たちが手話で表現する。NHK初の手話つきドラマ、果たしてその仕上がりがりやかに？手話のできる芸人・河本準一さんをナビゲーターに迎えてお送りする。 出演者 河本準一／小林聡美／小澤征悦／今井彰人／数見陽子／高島良宏／竹村祐樹	29	A-3
DVD	DA2020-031	ハートネットTV 手話で楽しむみんなのテレビ！ ～サンドのお風呂いただきます編～	NHKの人気番組に手話がつく「手話で楽しむみんなのテレビ！」。今回は、サンドウィッチマンが各地の家庭風呂をいただきながら人々と触れ合う、湯けむり人情バラエティー「サンドのお風呂いただきます」。会話のテンポが速く、音楽も効果音も盛りだくさん。にぎやかだから面白いバラエティーを、どうやって手話で表現する？？新たな魅力を帯びた「サンドのお風呂いただきます」をお届け！ 出演者 砂田アトム／中川恵美／サンドウィッチマン／カミナリ／江副悟史	29	A-3
DVD	DA2021-001	文字の獲得は光の獲得でした 作家 柳田邦男が読む いのちの手記	NHKとNHK厚生文化事業団が主催する「NHK障害福祉賞」には、身体障害や精神障害などと向き合う人たちから半世紀にわたり1万3千以上の手記が寄せられてきた。長年、この賞の選考委員をつとめてきた作家 柳田邦男さんは、それを「人間理解の宝庫」という。そこには苦悩や偏見を乗り越え人生を切り開いてきた人々の真実の言葉がある。番組では柳田さんとともに過去の受賞者4人を訪ねる。人生に立ちほだかる壁を「文字で表現すること」を通して越えてきた人々の体験から、私たちは何をくみとることができるのか。 出演者 柳田邦男／夏子	49	A-3
DVD	DA2021-031	ハートネットTV #隣のアライさん 「これだけは知ってほしい！“統合失調症”のこと」	さまざまなマイノリティーのアライ(味方・理解者)を増やそうと始まった番組「#隣のアライさん」。第1回は統合失調症の人たちの「これだけは知ってほしい」に迫る。統合失調症の人たちの悩みや関係の作り方について、クイズを通じて理解を深める。 出演者 最上もが／荻上チキ／中野淳	29	A-3
DVD	DA2021-032	ハートネットTV #隣のアライさん 「これだけは知ってほしい！“摂食障害”のこと」	今回は、摂食障害への理解を深め、拒食や過食に悩む人たちの味方になることを目指す、隣のアライさん。摂食障害の原因は、体重コントロールのためのダイエットであると思われがちだが、単にその行為が問題だけでなく、その行為の奥にある精神的な問題も大きく関わっている。そのため、摂食障害を乗り越えるためには、周囲のサポートも欠かせない。正しい知識を持って、アライさんを目指そう。 出演者 最上もが／荻上チキ／中野淳	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2021-033	ハートネットTV #隣のアライさん 「これだけは知ってほしい!“てんかん”のこと」	てんかんは100人に1人が発症するといわれる身近な疾患だが、発作の一種である「けいれん」のイメージから、強い偏見や過剰な配慮に悩みを抱えている人が多い。疾患の基礎知識や発作時にはどうすればいいのかなど、てんかんへの理解を深め、アライ(味方・理解者)を目指す。当事者の経験談からどのようなアライが求められているのを考える。 出演者 最上もが／荻上チキ／中野淳	29	A-3
DVD	DA2022-029	ハートネットTV 「困った！どうする？ろう・難聴者のウィズコロナ」	「新しい生活様式」により、暮らしが一変した人たちがいる。耳の聞こえない人たちだ。「マスクにより口の動きが読めずコミュニケーションが取れない」「オンラインの音質が悪く聞こえにくい」など混乱が起きているのだ。一方で「配慮してとお願いしにくい…」と、悩みを抱え込んでしまう人も多い。そこで、当事者だけの座談会を開催。同じ立場だからこそ分かち合える悩みを語り合い「どうすれば良いか」をみんなで考える。 出演者 長嶋愛	29	A-3
DVD	DA2022-030	ハートネットTV ヤングケアラーフォーラム SOS を見逃さないために	家族の介護や世話を担うヤングケアラー。中高生の20人に1人いると推定されています。埼玉県が全国に先駆けて対策に乗り出す中、「自分はヤングケアラーかもしれない」と気づいて声をあげる高校生も！そこで、「SOSを見逃さないために」と題してフォーラムを開催。元ヤングケアラーや専門家などが一堂に会し、会場参加者に加えリモートでつながった全国の視聴者と共に、本当に必要な支援とは何かについて考えます。 出演者 中野淳／森田久美子／宮崎成悟／持田恭子／勝呂ちひろ／中野綾香／藤岡麻里／大西咲	29	A-3
DVD	DA2022-031	目撃！につぼん 日本一静かで笑顔あふれるカフェ	東京・国立に2020年にオープンしたカフェ。人通りが多い駅前にありにぎわっていても、店に入ってみると驚くほど静か。「いらっしやいませ」の声もない。それは、聴覚に障害があるスタッフたちが手話で接客しているから。手話や筆談、時にはジェスチャーも交えて“会話”する。その笑顔あふれる接客に、常連さんも増えている。訪れる人が元気になれるカフェ、そのワケ、見てみませんか？	35	A-3
DVD	DA2022-032	ハートネットTV 私のリハビリ・介護 「台風かあちゃんの遠距離介護 柴田理恵」	ふるさとの富山でひとり暮らしをしている母・須美子さんを5年前から遠距離介護してきた俳優の柴田理恵さん。コロナ禍以降、帰省は厳しく制限され、年に1度ほどしか会えない状況に追い込まれた。そんな柴田さん親子を支えてくれたのが地元のつながり。近くに住む親戚やご近所、須美子さんの教員時代の教え子などが、買い物や洗濯、通院や雪かきなどを手伝い、須美子さんの暮らしを支えている。遠隔介護の秘けつをうかがう。 出演者 柴田理恵／DJ KOO／中野淳	29	A-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DA2022-033	ハートネットTV 私のリハビリ・介護 「脳動脈瘤(りゅう)からの生還 DJ KOO」	4年あまり前、テレビ番組の企画で人間ドックを受けたDJ KOOさん(60)。脳内に直径1センチ弱の動脈瘤(りゅう)が見つかり、6時間半に及ぶ手術を受けることになった。改めて思い知らされた健康のありがたさ。そして、妻や娘の愛情の深さ。無事手術に成功し、完全復活を果たした今、KOOさんは、がんの早期発見を促す啓発活動などに積極的に参加している。大病の末につかんだものについてうかがう。 出演者 DJ KOO／柴田理恵／中野淳	29	A-3
DVD	DA2023-032	手話で楽しむみんなのテレビ 怪談・奇談編	「あなたは私の申し上げることをお信じにならないかもしれません」。舞台上には、異なることばを語る2人の語り手。次第に会話を繰り広げ、観客を不思議な怪談・奇談の世界へ誘う。豊かな表現力と個性を放つ5名のろうの俳優たちと、怪談を極める俳優・白石加代子が、手話と語りで魅せる「死骸にまたがる男」(小泉八雲)と「妖婆」(芥川龍之介)。聞こえない役者と聞こえる役者が、ひとつの舞台で共に妖しき世界をつくりあげる。 出演者 白石加代子／菊川れん／江副悟史／八百谷梨江／數見陽子／那須映里	29	A-3
DVD	DA2023-033	四リバラ “ハマってしまった人” にきいてみた ～意外と身近な依存症の世界～	意外と身近な依存症を深掘り！ 依存症は日常に支障をきたしているにもかかわらず、依存先への欲求が一生続く慢性的な脳の病気。日常に潜む依存への誘惑はどこにあるのか、お笑い芸人の小藪千豊さんとともに街ぶら検証！ ・薬局のアレや書店のアレも引き金に？ 目からウロコ！ 海外の依存症対策 ・依存症の本当の回復とは…〇〇にハマること?! ・かつてギャンブルを止められなかったある男性の暮らしに密着！ 家族や友人がどう付き合っていけばよいのか考えていく 出演者 山本シュウ／玉木幸則／東佳実／濱田マリ／小藪千豊	29	A-3
DVD	DA2023-034	ハートネットTV #きょうだい 見過ごされてきた 葛藤	障害や病気のある人の兄弟姉妹を、ひらがなで「きょうだい」と表現します。きょうだいは、子どもの頃から特有の悩みを抱えやすいと言われています。ケアに忙しい親に構ってもらえない寂しさ、社会の偏見、親亡きあとの不安。こうした生きづらさは家族という枠組みの中で見過ごされがちです。近年、きょうだいたちが自ら居場所づくりをするなど、自分らしく過ごせる未来を作ろうと奮闘しています。見過ごされてきた、きょうだいの声に耳を傾けます。 出演者 増田美佳／山下のぞみ／滝島真優	29	A-3